



ラスト・オブ・ベルイマン

世界映画史に輝く巨匠イングマール・ベルイマン監督追悼 必見の25作品、日本最終上映!!

12/22(土)	10:50 危機	12:50 愛欲の港	14:45 渴望	16:30 歓喜に向かって	18:25 夏の遊び	20:15 シークレット・オブ・ウーマン
23(日)	10:50 不良少女モニカ	12:50 愛のレッスン	14:45 夏の夜は三たび微笑む	16:50 第七の封印	18:45 野いちご	20:30 魔術師
24(月)	10:50 処女の泉	12:50 悪魔の眼	14:40 鏡の中にある如く	16:30 冬の光	18:10 沈黙	20:00 この女たちのすべてを語らないために
25(火)	10:50 ベルソナ	12:30 夜の儀式	14:00 叫びとささやき	15:45 ある結婚の風景	18:50 秋のソナタ	20:40 夢の中の人生
26(水)	10:50 ファニーとアレクサンデル	——	14:20 危機	16:10 愛欲の港	18:10 渴望	19:50 歓喜に向かって
27(木)	10:50 夏の遊び	12:50 シークレット・オブ・ウーマン	14:55 不良少女モニカ	16:45 愛のレッスン	18:40 夏の夜は三たび微笑む	20:40 第七の封印
28(金)	10:50 野いちご	12:50 魔術師	14:50 処女の泉	16:35 悪魔の眼	18:20 鏡の中にある如く	20:10 冬の光
29(土)	10:50 沈黙	12:50 この女たちのすべてを語らないために	14:30 ベルソナ	16:10 夜の儀式	17:40 叫びとささやき	19:30 ある結婚の風景
30(日)	10:50 秋のソナタ	12:50 夢の中の人生	15:00 ファニーとアレクサンデル	——	——	——

2007.12/22土→30日

■料金(当日券のみ) ■一般1200円、大学以下・シニア・会員1000円
　　当月5回券5000円、会員5回券4000円

自由席
整理番号順
各回入替

デジタルDLPシアター
地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩3分
シネ・ヌーヴォX
TEL.06-6582-1416
<http://www.cinemouveau.com/>

Ciné Nouveau X SCHEDULE

RYUKYU COWBOY FILMS OKINAWAN FREESTYLE SHORT MOVIE ENTERTAINMENT.

100%沖縄産。誰も観た事のない琉球映画、お正月ロードショー!!

琉球カウボーイ、よろしくゴザイマス。

2007年／日本／カラー／94分／製作：琉球カウボーイフィルムズ製作委員会、シugartrain、鳥越事務所／配給：シugartrain／特別出演：仲田幸子

沖縄でしか作り出すことの出来ないコアな沖縄人の精神(スピリッツ)世界を娯楽エンターティメントとして仕上げた、資本・製作・配給すべて沖縄産100%映画が誕生した！ 沖縄在住の若手映像作家3人によるオムニバス作品を沖縄喜劇の女王・仲田幸子がナビゲートするオキナワン・ワールド。沖縄で知らぬ人がいない沖縄オールスターキャストが総結集し、またサウンド王国沖縄ならではの音楽も満載！ 沖縄の光、空気、匂いと思いが紡ぎ出したファンタジーでコメディーでちょっぴり涙ぐるぐるのアチコーコー(熱い情熱の)ムービー！ 沖縄ファンならずともサバカルチャー、島カルチャーの魅力満載!! めでたいお正月ロードショー！

Story 1 「See Me?」

◎監督・脚本：當間早志 ◎撮影：新田昭仁 ◎出演：幸地尚子、吉田妙子、藤木勇人、奈須重樹、与那国宣、新健二、新城美幸
「清明祭」という沖縄ならではのobao參りを軸に、沖縄スピリッツを沖縄人の視点で繰り取った作
コミカルな登場人物とスタイルッシュな映像で、現代の沖縄文化に対する若者達の本音を明
テー^ル（大概）感覚満載で繰り広げるファンタジムービー。

Story2 「Happy☆Pizza」

◎監督・脚本:福永圓平 ◎撮影:仲村健勇 ◎出演:アルベルト・新城愛理、城間祐巳、アリカワコヘイ!、内田周作
ペルー出身の沖縄系3世アーティスト・アルベルト出演。アルベルトの切ないラブソング「アイリーのテーマ」の曲に乗せて展開する、ビザ屋店員と不思議な女子アイリのショートコメディ。斬新な映像センスが新しい、オキナワン・ニューエイジ・ムービー!

Story3「マサーおじいの傘」

◎監督・脚本:大城直也 ◎撮影:新田昭仁 ◎出演:カッチャン、神谷健太、ジョニー・宜野濱、橋原道、川崎聰、津波信一、新良幸人
1975年の系溝を舞台に、実在した伝説の空手家「マサー文爾」の話を脚色した作品。個性的な登場人物たちが少年の成長を見守る。オール系溝ロケ、オール系溝方言。スージ(路地)には漏ら懐かしい味わい。ウミンチの町並みが残る風景や、これまでの沖縄映画にはない独特のスピリッツ!

12月	1 sat	2 sun	3 mon	4 tue	5 wed	6 thu	7 fri	8 sat	9 sun	10 mon	11 tue	12 wed	13 thu	14 fri	15 sat	16 sun	17 mon	18 tue	19 wed	20 thu	21 fri	22 sat	23 sun	24 mon	25 tue	26 wed	27 thu	28 fri	29 sat	30 sun	31 mon
日 Day	『オレの心は負けてない』 10:50 1300円均一、シニア1000円 『プライスタグ』※12/6木の16:30 の回は休映 12:50/14:15/15:40 17:05/18:30 ★12/2日12:50-14:15の回、舞台あいさつ!! 1200円均一、シニア・会員1000円	『プライスタグ』 11:20/12:50/14:15 15:40 ★12/9日12:50-14:15の回、舞台あいさつ!! 1200円均一、シニア・会員1000円 (前売1000円)	『バウムクーヘン』 11:10/13:30/15:50 18:10 ※ただし、12/20木18:10の回は休映 一般1700円、学生1400円 高校・シニア・会員1000円 (前売1400円)	『バウムクーヘン』 17:20/19:40(終21:45) 一般1700円、学生1400円 ※ただし、12/13木は休映	『プライスタグ』20:40 ※ただし、12/20木は休映(終21:50) 1200円均一、シニア・会員1000円	『イングマール・ベルイマン監督追悼』 『ラスト・オブ・ベルイマン』 ベルイマン監督作品日本最終上映!! ベルイマン監督作品25本一挙上映! (各回入替制) 料金(当日券のみ) 一般1200円、学生・シニア・会員1000円 当日5回券5000円(会員5回券4000円)	休 映																								
夜 Late	『オレの心は負けてない』 20:20(終22:00) 1300円均一、シニア・会員1000円																														
2008.1月	1 tue	2 wed	3 thu	4 fri	5 sat	6 sun	7 mon	8 tue	9 wed	10 thu	11 fri	12 sat	13 sun	14 mon	15 tue	16 wed	17 thu	18 fri	19 sat	20 sun	21 mon	22 tue	23 wed	24 thu	25 fri	26 sat	27 sun	28 mon	29 tue	30 wed	31 thu
日 Day	お正月ロードショー おめでとうゴザイマス。 『琉球カウボーイ、よろしくゴザイマス。』 12:20/14:20/16:20/18:20 一般1700円、学生1300円、 高校以下・シニア・会員1000円(前売1300円)	『あいのこころ』 11:20/13:40/16:00 ★舞台あいさつあり!!(詳細は劇場まで) 一般1700円、学生1300円、 高校以下・シニア・会員1000円(前売1300円)	★木曜講座★ 連日19:00スタート 12/6(木) 特別講座「玉本英子、現場を語る」(チヤ付き) 12/13(木) 原一男ドキュメンタリー講座「1月は...」 12/20(木) 浅野潜さんと映画を楽しむ会(休講) 一般1500円、学生・シニア1200円/会員1000円																												
夜 Late	休 映	『琉球カウボーイ、よろしくゴザイマス。』 20:20(終22:00) 一般1700円、学生1300円、高校・シニア・会員1000円	『琉球カウボーイ、よろしくゴザイマス。』 18:20/20:20(終22:00) 一般1700円、学生1400円、高校・シニア・会員1000円(前売1400円)	『タクミくんシリーズ』 そして春風にささやいて』 18:00 19:50(終21:10) 一般1700円、学生1400円、高校・シニア・会員1000円(前売1400円)																											

12/1(土)~ロードショー プライスタグ

2007年／日本／カラー／68分／製作・配給：ブルズ・アイ、コミックス・ウェーブ・フィルム、トウッド／監督・脚本：友野健介／プロデューサー：坂田史志／撮影：近藤龍人／CG：森林久哉／出演：萩田修司、今西彌、矢橋秀浩、植松俊也、吉川智子、小嶋麗奈、笠原紳司

PPP（プロデューサー・プロデュース・プロジェクト）第2弾。キーワードは「お金」。投資や欲望、また「生きるためにお金の存在は必要不可欠。しかし使い方、使う人によって「お金」は色々な側面もあるのが現実。本作では、中学生の主人公、正太郎が「お金」本来の重要性を考え、家族、友人らと触れ合いながら「価値観」を自分なりに、漠然とながら見つけていく様を、あらゆる場面で表現する「数字」とともにリアルに描く。スタッフは大阪芸大出身で、監督・脚本は友野健介（『夢のはとり』）、プロデューサーは坂田史志、撮影には山下敦弘監督とのコンビで知られる近藤龍人（『天然コケッコー!』）。主演の中学生は、オーディションで選出された3人、また『初恋』『樹の海』の小嶋麗奈、そして『演じ屋』『駄目ナリ!』の笠原紳司が主人公のこころの隙間を埋めるおおらかな存在感で、物語全体を包み込む。



●12/1土～7金 12:50/14:15/15:40/17:05/18:30
(ただし、12/6木18:30の回は休映)
●12/8土～14金 11:20/12:50/14:15/15:40
●12/15土～21金 20:40 (ただし、12/20木は休映)

12/7(金)までモーニング&レイトショー オレの心は負けてない

2007年／日本／85分／製作・配給：在日の慰安婦裁判を支える会
◎監督：安政龍／撮影：秦澄子、安海龍、朴正福／音楽：張在孝、孫最烈／歌：朴俊／ナレーション：渡辺美穂



中国で7年間、日本軍の「慰安婦」を強制された宋神道（ソン・シンド）さんが、戦後の日本で沈黙の半世紀を生き、日本政府を相手に10年の裁判をたたかって過程を描いたドキュメンタリー映画。宋神道さんは1922年、朝鮮の忠清南道に生まれた。16歳の時（38年）、騙されて中国中部の武昌で「慰安婦」をするよう強制され、その後たびび妊娠。漢口で子どもを産むが、中国人に預けられ、岳州に移動。「部隊付き」として、応山、長安などに出かけることもあった。咸寧で日本の敗戦を知るが、行く先もなく、「結婚して日本に行こう」という日本軍人の言葉を信じて日本へ。しかし46年春、博多港に着いた途端、その軍人に放り出されてしまう。その後、在日朝鮮人男性河銀賀さんに救われ、河さんが亡くなる82年まで共に暮らしたが、現在は一人暮らし。93年4月、日本政府に対し「謝罪文の交付」と「国での公式謝罪」を求めて提訴。この裁判を支援するため「在日の慰安婦裁判を支える会」が結成された。宋さんと支える金、支援者たちとの間で築かれた10年を追う。

●12/7金 10:50/20:20 (ただし、12/6木は休映)



連日整理券発行（各回完全入替制）

●連日朝より当日分の整理券つき入場券の販売を開始します。ご入場は各回10～20分前より整理番号順となりますので、前券などを受付にて入場券とお引き換え下さい。完全入替制となりますので、ご注意ください。

●シネ・ヌーヴォXは、すべてデジタルDLP上映となります。

シネ・ヌーヴォXのスペースを開放！上映会を企画してください。貢館募集!!

シネ・ヌーヴォXは、座席30の多目的フリースペース。上映会、ワークショップなど、貸し出しも行なっております。

12/8(土)～ロードショー バウムクーヘン

2006年／日本／カラー／120分／配給：パイオタイト／監督：赤木ケンサク／脚本：打木健司、赤木ケンサク／撮影：刈谷亮介／出演：マメ田山、山本浩司、本多章一、桃生重希子、今宿麻美、一色紗英



ドリツ生まれのお菓子“バウムクーヘン”木（baum）の輪（kuchen）という意味を持ち、結婚式などのお祝いごとに欠かせないラッキー・チャームだ。“幸福の象徴”を巡ってファンタジックな4つの世界がグルグルまわる、現代のおとぎばなし本作。ちょいダメな3兄弟とその恋人たちの“しあわせ”さがしを描く。出演は、60年代から舞台を中心に活躍、『青春』（01）でスクリーンデビューし映画俳優としても存在感を見せてるマメ田山が3兄弟の長男を演じ、次男は『アリアズムの宿』（03）など山下敦弘作品の常連・山本浩司、三男は、『闇打つ心臓』（06）で若き主人公を演じた目黒・本多章一、3兄弟の恋人役は、そのライフスタイルも大注目の一色紗英、人気モデルから女優へ進出し活躍中の桃生重希子。『LOVE MY LIFE』（06）で鮮烈な映画初主演を飾った国際的カリスマモデル・今宿麻美、そんな俳優たちの魅力を、ビースフルなストーリーテリングとスタイルッシュな映像で魅せる。さあ、甘くせつなく、とびきりハッピーな『バウムクーヘン』を、ぜひご賞味あれ！

●12/8土～14金 17:20/19:40 (ただし、12/13木は休映)

●12/15土～21金 11:10/13:30/15:50/18:10 (ただし、12/20木の18:10の回は休映)

1/19(土)～ロードショー タクミくんシリーズ そして春風にささやいて

2007年／日本／75分／配給：ビデオプランニング／監督・脚本：横山一洋／脚本：どうしのぶ／脚本：金杉弘子／出演：柳下大、加藤慶祐、斎藤ヤスカ、瀧口幸広、牧田哲也、波多野涉、坂口りょう、相葉弘樹



累計400万部の大ヒット小説タクミくんシリーズ。

多くの女の子が夢を見た珠玉の原作をみずみずしいフレッシュなキャストで見事に実写化！ 小説・漫画での人気ゆえ実現不可能とまで言われたタクミとギーのキャラクターを見事に演じたのは、人気俳優集団D-BOYSでドラマや舞台で活躍中の柳下大と、ドラマ「花ざかりの君たちへイケメンバカラダイス～」の加藤慶祐。そのほかミュージカル『テニスの王子様』から瀧口幸広、牧田哲也、相葉弘樹、戦隊シリーズから斎藤ヤスカ、アニメから羽多野渉など各ジャンルの人気者が、シリーズのキャラクターをさわやかに演じる。人里離れた全寮制の男子高校・祠堂学院。2年生になってタクミは、ルックス・成績とともに抜群の学校のアイドル的存在の義一（ギー）とルームメートになるが…。

●1/19土～ 18:00/19:50

COMING SOON

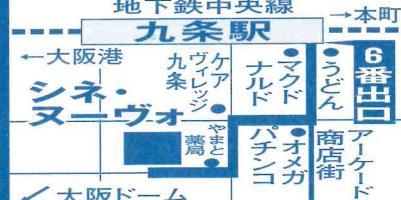
来春ロードショー Cuba/Okinawa サルサとチャンブルー

2007年／日本／100分／監督：波多野哲郎

80年前、沖縄から遠く太平洋とアメリカ大陸を隔ててキューバへと渡った日本人移民とその末裔たちを追った人生と音楽のドキュメンタリー。第二次大戦当時アメリカに追随していたキューバの過酷な日系人強制収容所の実態とは…？ 映画評論家・波多野哲郎氏、渾身の初監督作品。



Ciné Nouveau X



地下鉄中央線
九条駅

→本町
←大阪港
シネ・ヌーヴォ
大阪ドーム

アッブリンクX 提携

シネ・ヌーヴォX

地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩3分

シネ・ヌーヴォ内 tel.06-6582-1416

<http://www.cinenouveau.com/>

ラスト・オブ・ベルイマン

追悼ベルイマン監督
日本最終上映

仮面／ペルソナ

67年黄金の雷賞女優賞他

1966年／79分 出演：ビビ・アンデション、リヴ・ウルマン
言語障害を起こした女優が…。人間性の深遠に迫りていたベルイマン最高傑作。ベルイマン映画のヒロイン、リヴ・ウルマンが初出演。

夜の儀式

1969年／72分 出演：イングリット・チューリン、アンデレス・E・ウンケルマン

「儀式」という芝居で巡業する3人の一座がワイセツ罪で判事の取り調べを受ける…。ベルイマンのスタイルが一変する注目すべき作品。

叫びとささやき

72年ニューヨーク映画批評家協会賞

作品・監督・脚本・女優・撮影賞
1973年／87分／カラー 出演：ハリエット・アンデション、イングリット・チューリン
赤い部屋と女たちの白いささやき…。愛、孤独、性、死の断片をえぐりだしながら「生」の意義を鋭く問い合わせた傑作。

ある結婚の風景

74年ニューヨーク映画批評家協会賞

脚本賞、女優賞（リップ・カルマン）
1974年／164分／カラー 出演：リヴ・ウルマン、エルランド・ヨセフソン
結婚10年目の夫婦が、夫の浮気から離婚し、それぞれが結婚に至るまでの題名通りの作品。30年後に続編『サラバンド』が作られている。

秋のソナタ

75年ゴールデングローブ賞

最優秀外国語映画賞他
1978年／89分／カラー 出演：イングリット・バーグマン、リヴ・ウルマン
7年ぶりに会った母と娘の愛と憎悪。名女優イングリット・バーグマンが母国に帰って出演した話題作で、最後の出演作品となつた。

夢の中の人生

79年ゴールデングローブ賞

最優秀外語映画賞他
1980年／100分／パートカラー 出演：ロバート・アルツォルン
衝動的殺人の裏に隠された夫婦生活の破綻。ベルイマンが脱税事件で国外暮らしを余儀なくされた時期にドライブで撮った犯罪に対する考察。

ファニーとアレクサンデル

84年米アカデミー賞

最優秀外語映画賞他
1982年／185分／インターナショナルバージョン／カラー 出演：パティル・グーヴェ
ベルイマンの生地・ウプサラを舞台にした壮大な自伝的サガ（年代記）。まさにベルイマンの集大成であり、畢生の大傑作!! 必見!

危機

1945年／89分 出演：イングリット・ラングレー

ベルイマンの才気が光る記念すべき監督處女作。養女と養母、実母を巡る愛の問題作。マルセル・カルネの影響も指摘される。

愛欲の港

1948年／93分 出演：ペングト・エクルンド、ニーネ・クリスティーネ・ヨンソン

ベルイマンの演出スタイルが確立した初期代表作。本作で初めてベルイマン作品が日本に紹介された。

渴望

1949年／81分 出演：エヴァ・ヘニング、ビル・エーレル、マルムスティン

傷つけあいながらも同居し続ける孤独な夫婦関係、人間の持つ激しいエゴイズムを赤裸々に描く。

歓喜に向かつて

1949年／95分 出演：マイ・プリット、ニルソン、スティング、オリ昂

妻の事故死を知られた交響楽団のヴァイオリニストは…。音楽家の人生と、その音楽による精神的救済を描く。

夏の遊び

1950年／91分 出演：マイ・プリット、ニルソン、ビル・エーレル、マルムスティン

避暑地の夏に繰り広げられたブリマ・バレリーナと学生の清純な恋。「私の青春の一部が反映されている一番大好きな作品」。

シーケレット・オブ・ウーマン

1952年／103分 出演：アニア・ペルク、マイ・プリット、ニルソン

ある夏、4人の妻たちが別荘に集まり過去の恋愛体験を告白するコメディ。〈映画史に残る名場面〉と言われる15分もの長回しは必見！

不良好少女モニカ

1953年／92分 出演：ハリエット・アンデション、ラルフ・エクボリ

ゴダールが唸った夏の象徴“モニカ”。ヌーベルヴァーグやその後の監督たちに多大な影響を与えた青春映画の傑作！

愛のレッスン

1954年／92分 出演：グンナル・ビヨンストラント、エヴァ・ダーレベック

ベルイマンの人生観や恋愛観を表した愛と真実の虚構。男女の葛藤を軽いタッチで描いた喜劇の代表作。

夏の夜は三たび微笑む

1955年／104分 出演：グンナル・ビヨンストラント、ウラ・ヤコブソン

北欧の夏を背景に四組の男女が交錯する恋愛劇。16歳の女性と再婚した弁護士は幸せな日々を送っていたが…。

この女たちのすべてを語らないために

1964年／76分／カラー 出演：ヤール・クッレ、アラン・エードワル

膨大なフィルムを廻して取り組んだベルイマン最初のカラー作品。著名なチコロ奏者の多くの女性との関係…。

第七の封印

57年カンヌ映画祭審査員特別賞他

1956年／92分 出演：マックス・フォン・シドウ、イングリット・ラングレー

十字軍遠征の帰路、騎士が死神に出会う。善悪、生と死、信仰などの問題を追求する傑作。マルセル・カルネの影響も指摘される。

野いちご

1957年／87分 出演：ヴィクトル・シェーストрем

過去と現在、生と死、夢と現実の世界が交錯する大傑作。独自の映像美で国際的に巨匠の位置を確立した名作。

魔術師

1958年／97分 出演：マックス・フォン・シドウ、イングリット・チューリン

19世紀半ば魔術師一座がストックホルムに到着する。検問官は魔術師たちを調査するが…。ベルイマン的要素の溢れる謎に満ちた作品。

処女の泉

1959年／86分 出演：マックス・フォン・シドウ、ビル・ギッタ、ベッテ・シモン

1960米アカデミー賞

60年米アカデミー賞

脚本賞、女優賞（リップ・カルマン）
1974年／164分／カラー 出演：リヴ・ウルマン、エルランド・ヨセフソン
結婚10年目の夫婦が、夫の浮気から離婚し、それぞれが結婚に至るまでの題名通りの作品。30年後に続編『サラバンド』が作られている。

魔術の眼

1960年／84分 出演：ビビ・アンデション、ヤール・クッレ

魔術の眼にものもらいが出来た娘の純潔と魔術のものもらいという民話に基づくコメディ。男女の愛の不調和を描く。

鏡の中にある如く

1961年／86分 出演：ハリエット・アンデション、ラーシュ・バーゴード

美しい幻想的な風景の中で描いた“神の沈黙”三部作第1作。タイトルは新約聖書の一節が由来。思想の深化と表現の純化が圧倒的！

冬の光

1963年／84分 ウィーン宗教映画週間最優秀外国映画賞他

1962年／77分 出演：グンナル・ビヨンストラント、イングリット・チューリン
妻に先立たれ失意にある牧師の苦悩と神の不在…。ベルイマンの自伝的要素が濃い“神の沈黙”第2作。

沈黙

64年黄金の雷賞監督賞

1918年7月14日、牧師の次男としてスウェーデン・ウプサラに生まれる。父に厳格な宗教的教育を受け、反動として幼児期から嘘と空想に没頭する。学生演劇に熱中し、その後シナリオを執筆。45年「危機」で映画監督デビュー。『夏の遊び』（50年）頃からカイエ・デュ・シネマ誌がヨーロッパ最大の映画作家と評し、カンヌ（『第七の封印』『処女の泉』）、ベルリン（『野いちご』）、ベネチア（『魔術師』）と主要映画祭で連続受賞を果たす。アカデミー賞にも10回以上ノミネート、国際語映画賞を連続して受賞するなど、数多くの作家たちに影響を与えた20世紀最高の映画監督のひとり。『ファニーとアレクサンデル』（82年）を最後に「映画監督をやりつくした」と引退宣言。しかし03年『サラバンド』を遺作と公言して発表。07年

3/1(土)～ロードショー

子供たちは、夢にまで見た海に行くため、初めて自分たちの村を出る。

それは、大人になるための自立への第一歩だった――。

デック 子どもたちは海を見た

2005年／タイ／長編ドキュメンタリー／カラー／100分

配給：地球市民ACTかながわ、TPAK

◎監督：ボップ・アリヤー・チュムサイ、ニサ・コンシリ

海を見たことのない子どもたちは、

海を見る日を夢見ている。

大人たちは、子どもたちが海を見る日を夢見ている。やがて、子どもたちは海を見る。

海の向こうにあるもっと大きな海を見る。

●元ミス・タイランドにして女優、小説家、映画監督として活躍中のポップ・アリヤー・チュムサイとカメラマンのニサ・コンシリが1年を費やして制作、反響の輪が広がっているタイ発のドキュメンタリー映画。●チェンマイの北部の山奥にあるメートー村、山岳少数民族の子供たちのための教育施設、メートー学校。この学校は、山岳少数民族が貧困のために満足に教育をうけられない状況を開拓するためにつくられた学校で、そこに通う幼稚園から中学校3年生約400人の子供たちは家族から遠く離れて寄宿舎で共同生活を行なうながら勉強に勤しんでいる。山の中で生まれ育った子供たちは、村を流れる川が行き着く海を見たことがない。行ってみたいけれど、交通手段もお金もないため、子供たちにとっては月に行くくらい難しいことだった。そんな子供たちを見ていた先生たちは、中学校を無事卒業したお祝いに、村の川の終点の海に子供たちを連れていく。「子供たちに広い海を見せて、広い視野を持ってもらいたい」という願いを込めて……。子供たちは、夢にまで見た海に行くため、初めて自分たちの村を出る。大人になるための自立への旅が始まるのだった。釜山国際映画祭で企画賞を受賞している。●2006年から本作の自主上映がすでに開始され、北は北海道、南は石垣島までの上映で約3,000人動員。この売上がメートー中学校を卒業した生徒たちがチェンマイ市内の高校に通う4つの寮の借り上げ費と、メートー学校の新寮の建設費の一部となっている。寮の支援により、男子12人、女子4人が新しく高校に入学できた。今後も、売上金をDEK基金として寮支援費などに使われる。

ເຕັກໄຕ
ອ່ານ່າວເວັບໄວ້



タイ山岳民族は今……
タイ北部の山岳地帯には、カレン族、モン族など70万人以上の山岳少数民族が暮らしている。どの民族も独自の文化と言語を持ち、焼畑農業をしながら伝統的な暮らしを守ってきた。しかし、昨今の森林保護政策やケシ栽培の禁止により、収入と生活の場を失い、その結果、若者達は村の静かな生活を捨て現金を稼ぐために都会に出て行かざるを得なくなった。しかし、タイ語や計算など教育を受ける機会のなかつた山岳民族は不当な差別を受け、非人間的な職業を選ばざるを得ない状況である。教育を受けたとしても、山の小さな集落には学校がなく、学校のある村までは、山道を何時間も歩かなければならぬ……。

COMING SOON

5月ロードショー

映画は生きものの記録である 土本典昭の仕事

2006年／94分／記録：ビジュアルトゥクス／監督：藤原典史

◎企画・製作：伏屋博雄／撮影：加藤孝信／インタビュー：石坂健治

いま、わたしたちは

土本典昭とともに旅に出る。日本が世界に誇るドキュメンタリー映画の巨匠、土本典昭。本作はその

映画と、見守り続けてきた「水俣」への思いを余すことなく伝える。土本は語りかける。自宅で、編集機の前で、そして水俣で。初期作品「ある機関助士」や「ドキュメント路上」への言及。「水俣 患者さんとその世界」、「不知火海」といった名シーン。久しぶりに水俣の人々と再会を果たす土本。わたしたちはこの旅で、伝え続けることの大切さを知る。2006年、水俣病は公式確認から50年を迎えた。しかし、認定問題などまだ解決していない水俣病、新たな裁判も始まった。本作とともに、土本監督水俣作品も一挙上映!!

近日ロードショー

Cuba/Okinawa サルサとチャンブルー

2007年／日本／100分／企画・制作・監督：波多野哲郎／構成：鈴木敏明／編集：山崎豊／音楽：KACHIMBA1551

映画批評家として活躍する波多野哲郎が、

ユニークな音楽ドキュメンタリーを製作。しかし彼が眼を向けたのは宝島の舞台となったキューバのフベントウ島。そこにいたのは日本政府に切り捨てられた棄民たちだった。1920年代、日本政府の移民政策により、沖縄から遠く太平洋とアメリカ大陸を隔ててキューバへと渡った日本や沖縄からの移民たち。しかし、そこに待ち受けているのは「棄民」としての過酷な運命だった。やせた土地、重労働、差別、強制収容。その中でも生き抜いた彼らは、二世、三世、四世と子孫を残し、彼らは地元の風土に受け込んで行く。忘れられた移民とその末裔の物語を、音楽の融合の視点からも見つめた渾身作!!

●お知らせ●

2・3月は木曜講座は休ませていただきます。

連日整理券発行（各回完全入替制）

●連日朝より当日分の整理番号つき入場券の販売を開始します。ご入場は各回10～15分前より整理番号順となりますので、前売券なども受付にて入場券とお引き換え下さい。完全入替制となりますので、ご注意ください。

●シネ・ヌーヴォXは、すべてデジタルDLP上映となります。

シネ・ヌーヴォXのスペースを開放！上映会を企画してください。貸館募集!!

●シネ・ヌーヴォXは、座席30の多目的フリースペース。上映会、ワークショップなど、貸し出しも行なっております。

●3/1土～3/14金 12:20/14:15/16:10/18:05

アップリンクX 提携

シネ・ヌーヴォX

地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩3分

シネ・ヌーヴォ内 tel.06-6582-1416

<http://www.cinenouveau.com/>

SCHEDULE

Ciné Nouveau X シネ・ヌーヴォ X スケジュール

2008
Feb
Mar

シネ・ヌーヴォの
新しいスペース
<発行>シネ・ヌーヴォ
2008年2月1日号

ハンガリーから素敵なアニメーションの贈り物 Meets the Hungarian Animation ミーツ・ザ・ハンガリアン・アニメーション

さても不思議なハンガリーの昔話！ 歌あり、変身あり、冒険あり…。東ヨーロッパにあって独自の文化を持つハンガリーならではノアート万華鏡！ それぞれのユニークな結末は？ マリア・ホルヴァート、イシュトヴァーン・オロス、ケレステシュ・ドーラ等々多彩なアニメーション作家によるリリカルな民話「ハンガリアン・フォークテイルズ」と、それぞれのアートアニメーションを一挙上映!! 驚きのハンガリーアニメとの出会い！ ハンガリーを代表する多彩なアニメーション作家が登場します。

2/23(土)～29(金)
1週間限定ロードショー

ミーツ・ザ・ハンガリアン・アニメーション

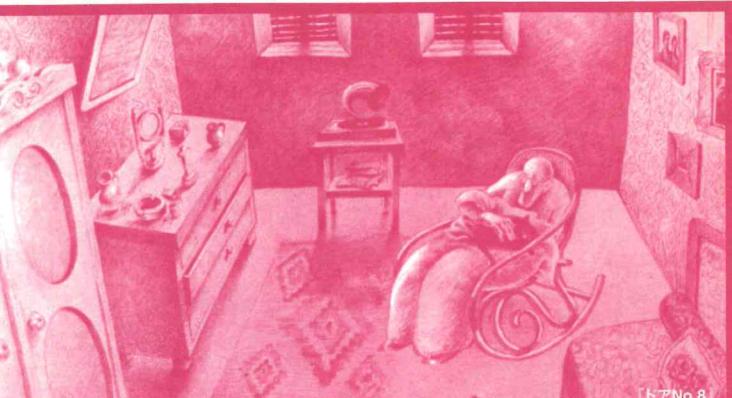
Aプログラム (計92分)

★ケレステシュ・ドーラ作品『ムーン・フィルム』(1979年／5分) 『マジック』(1985年／5分) 『イチ、ニ、サン』(2005年／4分) ★マリア・ホルヴァート作品『夜の奇跡』(1982年／9分) 『ドアNo.8』(1983年／1分) 『ドアNo.9』(1983年／1分) 『KAFF オープニングフィルム』(1985-1995年／3分) 『静寂』(2000年／6分)
★イシュトヴァーン・オロス作品『マインド・ザ・ステップ!』(1989年／6分) 『ザ・ガーデン』(1993年／7分) 『叫び』(1995年／3分)
★ハンガリアン・フォークテイルズA「フィドルになったお姫さま」「少年の見た夢」「貧乏な男と悪魔たち」「妬みの報い」「双子の王子の冒険」「貧者と利口な馬」

Bプログラム (計94分)

★ケレステシュ・ドーラ作品『顔』(1996年／4分) 『ゴールデン・バード』(1989年／13分) 『柳の微笑み』(2001年／3分) 『ナンダ、ナンダ?』(2002年／3分)
★マリア・ホルヴァート作品『グリーンツリー・ストリート66番地』(2002年／8分) ★イシュトヴァーン・オロス作品『ブラックホール—ホワイトホール』(2001年／4分) 『タイム・サイト』(2004年／10分)
★ハンガリアン・フォークテイルズB「かくかくしかじか」「靴をはきつぶす王女たち」「天使の羊」「とんまな妻」「金の毛の小羊」「魔法の南京錠」「ツェルセルーシュカ」

●監督紹介
ケレステシュ・ドーラ……ブダペストの芸術雑誌「ミューズ」のアート・ディレクター、デザイナーの仕事の傍ら、美術家、舞台芸術家、アニメーション作品の監督としても活躍。その作品は国内外の展示やビエンナーレ、映画祭に多数出品されている。ハンガリー・イラストレーター協会の副会長、ハンガリー・ポスター協会の設立者の一人。
イシュトヴァーン・オロス……1951年ハンガリー生まれ。75年に舞台美術家として活動を始め、アニメーター、監督、画家、版画作家、ボスター・デザイナー、イラストレーター、俳優として多彩な活躍。だまし絵や二重の意味を持つイメージを好み、伝統的な版画の技術を用いつつ、幻想的なアプローチを得意とする。
マリア・ホルヴァート……ハンガリーを代表するアニメーション作家であり、著名なイラストレーター、美術的な短編アニメーションと平行してテレビシリーズの監督も務めている。緻密なアニメーションの動きと詩の共鳴を基調とした美しい作風には国際的にも評価が高い。



「ドアNo.8」



ハンガリアン・フォークテイルズB「靴をはきつぶす王女たち」



Meet the Hungarian Animation

Jó neptű Németekハンガリーからこなす

ハンガリアン・フォークテイルズB「ツェルセルーシュカ」

ハンガリアン・フォークテイルズB「ツェルセルーシュカ」

『映画は生きものの記録である 土本典昭の仕事』ロードショーと 土本典昭の世界 2008.5.17sat.-30fri.

映画は 生きものの 記録である 土本典昭の仕事

2006年 / 日本 / カラー & モノクロ / 94分 / 配給: ビジュアル・ラックス
◎監督・編集: 藤原敏史 ◎企画・製作: 伏屋博雄 撮影: 加藤季信 ◎音響監督:
久保田幸雄 ◎監督補: 今田哲史 ◎インタビュー: 石坂健治 ◎出演: 土本典昭

いま、伝えるべきこと 見つめ続けること

土本典昭の世界



ある機関助士
1963 / 37分 / カラー / 岩波映画製作所
◆62年、三河島で起きた大事故の印象を一掃するため、国鉄当局が鉄道の安全性をPRする映画を企画。事故のあたる常磐線で、労働強化を強いた労働者の実像を取材、ある機関助士の一日を追った。芸術祭文部大臣賞、ベルリン映画祭青年文化賞他。



ドキュメント 路上
1964 / 54分 / 東洋シネマ
◆高度経済成長の只中、都市整備の工事が進み道路事情の悪化した東京で、タクシー運転手の労働実態に目を向く、その苦難を追った。完成後、交通安全映画として警察庁に買上げられ活用されることになっていたが、公開されず。芸術祭激励賞など。



パルチザン前史
1969 / 120分 / 小川プロダクション
◆京都大学助手であり、同時に難波予備校講師でもあった全共闘活動家、滝田修の革命運動を追ったドキュメンタリー。「革命と暴力」をテーマに、

◆日本が世界に誇るドキュメンタリー映画の巨匠、土本典昭。本作はその映画と、見守り続けてきた「水俣」への思いを余すことなく伝える。土本は語りかける。自宅で、編集機の前で、そして水俣で。初期作品『ある機関助士』や『ドキュメント 路上』への言及、『水俣—患者さんとその世界』、『不知火海』といった名シーン。久しぶりに水俣の人々と再会を果たす土本。わたしたちはこの旅で、伝え続けることの大切さを知る、ひとりの人間と出会うことになる。◆土本典昭の世界へ説うのは、劇映画第1作『ぼくらはもう帰れない』がベルリン国際映画祭(2006年)で上映され、世界の注目を集めた俊英、藤原敏史。

本作が初めての劇場公開作品となる。また、小川プロのプロデューサーとして知られ、河瀬直美『袖人物語』など多くのドキュメンタリーに携わった、伏屋博雄が企画・製作にあたっている。◆おだやかで静かな水俣の海—この海にいまなお繰り返される歴史がある海にたたずむ、土本典昭の姿。懐かしさ、寂しさ、悲しさ、嬉しさ、さまざまな思いがあふれる。2006年、水俣病は公式確認から50年を迎えた……。土本が初めて「水俣」を撮影したのは1965年のことだった。以来、17本にもおよぶ関連作品をつくりあげている。土本が見つめるのは眞の歴史だけではない。海からの恩恵と、海のよみがえりを見つめ続けている。水俣に暮らし、海を糧に生きる人々。その姿を見守る、土本のまなざし。水俣と海の歴史はこれからも続いている。

◆日本が世界に誇るドキュメンタリー映画の巨匠、土本典昭。本作はその映画と、見守り続けてきた「水俣」への思いを余すことなく伝える。土本は語りかける。自宅で、編集機の前で、そして水俣で。初期作品『ある機関助士』や『ドキュメント 路上』への言及、『水俣—患者さんとその世界』、『不知火海』といった名シーン。久しぶりに水俣の人々と再会を果たす土本。わたしたちはこの旅で、伝え続けることの大切さを知る、ひとりの人間と出会うことになる。◆土本典昭の世界へ説うのは、劇映画第1作『ぼくらはもう帰れない』がベルリン国際映画祭(2006年)で上

映され、世界の注目を集めた俊英、藤原敏史。

2006年 / 日本 / カラー & モノクロ / 94分 / 配給: ビジュアル・ラックス

◎監督・編集: 藤原敏史 ◎企画・製作: 伏屋博雄 撮影: 加藤季信 ◎音響監督:
久保田幸雄 ◎監督補: 今田哲史 ◎インタビュー: 石坂健治 ◎出演: 土本典昭

60年前に、イスラエルが誕生し、パレスチナ難民が発生した。この事件をパレスチナ人は、NAKBA(大惨事)と呼ぶ。1948年に何が起きたのか、世界のほとんどが、何も知らない……。世界的フォトジャーナリスト・廣河隆一が、40年間にわたって記録し続けた数万枚の写真、千時間を越える映像から完成した『パレスチナ1948・NAKBA(ナカバ)』。そこには、60年もの長きにわたって、そして今も故郷を失ったままのパレスチナの人々の歴史と現在が描かれていた。2008年5月14日、イスラエル建国60年、パレスチナ難民が発生して60年目を迎える。日本から戦争が忘れられようとしている戦後60年の今、まさに同じ時間をパレスチナの人々は難民として生きざるをえなかった。パレスチナに思いを託し、パレスチナを描いた12本の作品を一挙上映する。

『エドワード・サイド OUT OF PLACE』

2005年 / 日本 / 137分 ◎監督: 佐藤真 ◎企画・製作: 山上徹二郎 ◎撮影: 大津幸四郎、栗原朗、佐藤真

2003年9月、パレスチナ出身の世界的知識人エドワード・サイドが亡くなった。2004年春、レバノンのブルンマーナにサイドの墓はつくられた。昨年亡くなった佐藤真の遺作は、サイドの遺志と記憶をめぐる旅だった。イスラエル・アラブ双方の知識人たちの証言を道標に、サイドが求め続けた和解と共生の地平を探った佐藤真の渾身作。

『ルート181: パレスチナ・イスラエル 旅の断章』

2003年 / ベルギー・フランス・イギリス・ドイツ / 270分 ◎監督: ミシェル・クレイヴィ、エイアル・シヴァン

パレスチナの地を二分するために国連決議181号で定められた分割線で、実際には境界にならなかった架空の道(ルート181)。2002年夏、パレスチナ人のケイフイとイスラエル人のシヴァンの両監督はこの道を辿る旅に出る。そこであらわになる様々な境界に取り囲まれた生の現実と、歴史の變りが織り込まれた記憶は、今を覗く問いかける。

『プロミス』

2001年 / アメリカ / 104分 ◎監督・プロデューサー: ジャスティン・シャビロ、B.Z.・ゴールドバーグ

いま、中東紛争の激しい対立が続く、パレスチナ。お互いのことを全く知らないイスラエルとパレスチナの子供たち。20分と離れていないところに住みながら、言葉を交わしたことなれば、会ったことすらない。大人ほどの憎しみがない彼らを交流させることで、和平の可能性を考える傑作ドキュメンタリー。

『As Human Beings—日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議の記録～』

2005年 / 日本 / 26分 / 企画: 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議、独立行政法人国際協力機構(JICA) 東京センター、中央大学総合政策学部村野貞一研究室 ◎監督: 戸田泰雅

2004年夏、JICAによって行われた、地震で被災する前に新潟県山古志村を中心に、日本とイスラエル、パレスチナの大学生の合同会議の様子を23日間に渡って記録したドキュメンタリー。国際紛争、民族対立を解決する1つの糸口が示唆されている。第6回宝塚映画祭準グランプリ受賞。

『シャティーラキャンプの子供たち』

1998年 / パレスチナ・レバノン / 47分 ◎監督: メイ・マシリ

レバノンのシャティーラ・パレスチナ難民キャンプに暮らす12歳の少年イーザと11歳の少女ファラ。監督にビデオカメラを渡された彼らの瞳に映す日々の暮らしと家族の歴史、そしてその深い傷。半世紀におよぶ難民生活での虐待、病気、飢えを経て生きていくシャティーラキャンプの現実を生きていく子どもたちの夢を描く。

『夢と恐怖のはざまで』

2001年 / パレスチナ・アメリカ / 56分 ◎監督: メイ・マシリ

レバノンのシャティーラ・パレスチナ難民キャンプに生きる13歳の少女モナとヨルダン川西岸のデハイヤキャンプの14歳の少女マーナ。隔てられた難民キャンプに生きる2人は、メール交換から友情を深め、ついに故郷パレスチナと同胞から彼らを引き裂く国境の金網越しに会い合う。少女たちの夢や希望、友情を通して、パレスチナ難民の現実が浮かび上がる。

『アルナの子どもたち』

2003年 / イスラエル / 84分 ◎監督: ジュリアノ・メル・ハミース

ジェニン難民キャンプで、子どもたちに絵画やダンスなどを教える事業を開始したアルナ・メル。しかし95年にアルナが亡くなるジョニニアでの活動は小規模化していった。本作の監督アルナの息子であるジュリアノはジェニンキャンプにイスラエル軍が侵略し多くの犠牲者が出ていた事を知り、この地を訪れてパレスチナの現状を目の当たりにする。

『ノーム・チャムスキ=イラク後の世界を語る』

2003年 / 日本 / 24分 ◎監督: 山上徹二郎 ◎インディー・ジャパン・ユニカーメン ◎撮影: スティーブン・マッカーシー

米国のイラク侵略は本当に時代を塗り替えるような出来事だったか? ブッシュ・アメリカ大統領がイラクへの勝利宣言をした後のアメリカの状況は? そして眞の目的は? 本作は、イラク戦争後のアメリカ政府・社会の病理を観察分析する言語学者ノーム・チャムスキ=イランによる映像の記録である。

『中東レポート: アラブの人々から見た自衛隊イラク派兵』

2004年 / 日本 / 43分 ◎取材: 佐藤真、ナジーブ・エルカシュ ◎編集: 佐藤真、森岳志

2004年春、中東4ヶ国を巡り、アラブ世界を代表する知識人や文化人、エジプトの難民キャンプに生活するパレスチナの人びとに、日本の自衛隊イラク派兵について緊急インタビュー。なぜ今、世界でも稀なる平和憲法をもつ和平を希求する日本が、アメリカの大義なき戦争に参加しなければならないのかを問いただす。

『レインボー』

2004年 / パレスチナ / 41分 ◎監督: アブドウラ・サラーム・シャハーダ

イスラエル侵攻下のガザ、その過酷な現実を諦めかつ象徴性豊かな映像で表現し、2006年3月、第14回地球環境映像祭でその芸術性が高く評価され、アース・ビジョン大賞を受賞。占領下で破壊され、奪われ続けるパレスチナの人々の生活と命。その痛み、悲しみをレンズに焼き付けるかのように、カメラはまわる。

『ガーダー=パレスチナの詩』

2005年 / 日本 / 106分 ◎監督・撮影: 古届みづえ

パレスチナを18年間取材し続けてきた日本人フォトジャーナリスト・古届みづえは、現地取材の通訳として知り合った本作の主人公・ガーダを12年間撮り続けた。本作では、自立した女性として生きようとするガーダの12年間を縦軸に、ガーダが訪ね歩く女たちを通してパレスチナの過去・現在・未来が描かれている。

『バラダイス・ナウ』

2005年 / フランス・ドイツ・オランダ・パレスチナ / 90分 ◎監督・脚本: ハニ・アブ・アサド

イスラエルへの報復として、自爆テロの役目を担った2人の若者の葛藤と、実際に移すまでの緊迫の2日間を追った物語。パレスチナの現実を生きしく描き、ただの過激な自爆テロ犯のサスペンス的な映画ではなく、なぜ自爆が必要なのか、パレスチナに将来はあるのか、両国に平和は訪れるのか、様々な問い合わせを残す。

『中東レポート: アラブの人々から見た自衛隊イラク派兵』

2004年 / 日本 / 43分 ◎取材: 佐藤真、ナジーブ・エルカシュ ◎編集: 佐藤真、森岳志

2004年春、中東4ヶ国を巡り、アラブ世界を代表する知識人や文化人、エジプトの難民キャンプに生活するパレスチナの人びとに、日本の自衛隊イラク派兵について緊急インタビュー。なぜ今、世界でも稀なる平和憲法をもつ和平を希求する日本が、アメリカの大義なき戦争に参加しなければならないのかを問いただす。

『レインボー』

2004年 / パレスチナ / 41分 ◎監督: アブドウラ・サラーム・シャハーダ

イスラエル侵攻下のガザ、その過酷な現実を諦めかつ象徴性豊かな映像で表現し、2006年3月、第14回地球環境映像祭でその芸術性が高く評価され、アース・ビジョン大賞を受賞。占領下で破壊され、奪われ続けるパレスチナの人々の生活と命。その痛み、悲しみをレンズに焼き付けるかのように、カメラはまわる。

『ガーダー=パレスチナの詩』

2005年 / 日本 / 106分 ◎監督・撮影: 古届みづえ

パレスチナを18年間取材し続けてきた日本人フォトジャーナリスト・古届みづえは、現地取材の通訳として知り合った本作の主人公・ガーダを12年間撮り続けた。本作では、自立した女性として生きようとするガーダの12年間を縦軸に、ガーダが訪ね歩く女たちを通してパレスチナの過去・現在・未来が描かれている。

『バラダイス・ナウ』

2005年 / フランス・ドイツ・オランダ・パレスチナ / 90分 ◎監督・脚本: ハニ・アブ・アサド

イスラエルへの報復として、自爆テロの役目を担った2人の若者の葛藤と、実際に移すまでの緊迫の2日間を追った物語。パレスチナの現実を生きしく描き、ただの過激な自爆テロ犯のサスペンス的な映画ではなく、なぜ自爆が必要なのか、パレスチナに将来はあるのか、両国に平和は訪れるのか、様々な問い合わせを残す。

『中東レポート: アラブの人々から見た自衛隊イラク派兵』

2004年 / 日本 / 43分 ◎取材: 佐藤真、ナジーブ・エルカシュ ◎編集: 佐藤真、森岳志

2004年春、中東4ヶ国を巡り、アラブ世界を代表する知識人や文化人、エジプトの難民キャンプに生活するパレスチナの人びとに、日本の自衛隊イラク派兵について緊急インタビュー。なぜ今、世界でも稀なる平和憲法をもつ和平を希求する日本が、アメリカの大義なき戦争に参加しなければならないのかを問いただす。

『レインボー』

2004年 / パレスチナ / 41分 ◎監督: アブドウラ・サラーム・シャハーダ

イスラエル侵攻下のガザ、その過酷な現実を諦めかつ象徴性豊かな映像で表現し、2006年3月、第14回地球環境映像祭でその芸術性が高く評価され、アース・ビジョン大賞を受賞。占領下で破壊され、奪われ続けるパレスチナの人々の生活と命。その痛み、悲しみをレンズに焼き付けるかのように、カメラはまわる。

『ガーダー=パレスチナの詩』

2005年 / 日本 / 106分 ◎監督・撮影: 古届みづえ

パレスチナを18年間取材し続けてきた日本人フォトジャーナリスト・古届みづえは、現地取材の通訳として知り合った本作の主人公・ガーダを12年間撮り続けた。本作では、自立した女性として生きようとするガーダの12年間を縦軸に、ガーダが訪ね歩く女たちを通してパレスチナの過去・現在・未来が描かれている。

『バラダイス・ナウ』

2005年 / フランス・ドイツ・オランダ・パレスチナ / 90分 ◎監督・脚本: ハニ・アブ・アサド

イスラエルへの報復として、自爆テロの役目を担った2人の若者の葛藤と、実際に移すまでの緊迫の2日間を追った物語。パレスチナの現実を生きしく描き、ただの過激な自爆テロ犯のサスペンス的な映画ではなく、なぜ自爆が必要なのか、パレスチナに将来はあるのか、両国に平和は訪れるのか、様々な問い合わせを残す。

『中東レポート: アラブの人々から見た自衛隊イラク派兵』

2004年 / 日本 / 43分 ◎取材: 佐藤真、ナジーブ・エルカシュ ◎編集: 佐藤真、森岳志

2004年春、中東4ヶ国を巡り、アラブ世界を代表する知識人や文化人、エジプトの難民キャンプに生活するパレスチナの人びとに、日本の自衛隊イラク派兵について緊急インタビュー。なぜ今、世界でも稀なる平和憲法をもつ和平を希求する日本が、アメリカの大義なき戦争に参加しなければならないのかを問いただす。

『レインボー』

2004年 / パレスチナ / 41分 ◎監督: アブドウラ・サラーム・シャハーダ

イスラエル侵攻下のガザ、その過酷な現実を諦めかつ象徴性豊かな映像で表現し、2006年3月、第14回地球環境映像祭でその芸術性が高く評価され、アース・ビジョン大賞を受賞。占領下で破壊され、奪われ続けるパレスチナの人々の生活と命。その痛み、悲しみをレンズに焼き付けるかのように、カメラはまわる。

『ガーダー=パレスチナの詩』

2005年 / 日本 / 106分 ◎監督・撮影: 古届みづえ

パレスチナを18年間取材し続けてきた日本人フォトジャーナリスト・古届みづえは、現地取材の通訳として知り合った本作の主人公・ガーダを12年間撮り続けた。本作では、自立した女性として生きようとするガーダの12年間を縦軸に、ガーダが訪ね歩く女たちを通してパレスチナの過去・現在・未来が描かれている。

『バラダイス・ナウ』

2005年 / フランス・ドイツ・オランダ・パレスチナ / 90分 ◎監督・脚本: ハニ・アブ・アサド

イスラエルへの報復として、自爆テロの役目を担った2人の若者の葛藤と、実際に移すまでの緊迫の2日間を追った物語。パレスチナの現実を生きしく描き、ただの過激な自爆テロ犯のサスペンス的な映画ではなく、なぜ自爆が必要なのか、パレスチナに将来はあるのか、両国に平和は訪れるのか、様々な問い合わせを残す。

『中東レポート: アラブの人々から見た自衛隊イラク派兵』

2004年 / 日本 / 43分 ◎取材: 佐藤真、ナジーブ・エルカシュ ◎編集: 佐藤真、森岳志

2004年春、中東4ヶ国を巡り、アラブ世界を代表する知識人や文化人、エジプトの難民キャンプに生活するパレスチナの人びとに、日本の自衛隊イラク派兵について緊急インタビュー。なぜ今、世界でも稀なる平和憲法をもつ和平を希求する日本が、アメリカの大義なき戦争に参加しなければならないのかを問いただす。

『レインボー』

2004年 / パレスチナ / 41分 ◎

チベットを知ろう 2008

What's Happening in Tibet

チベットドキュメンタリー特集上映 in 大阪

深刻な人権蹂躪と文明破壊が進むチベットは、国際社会の中で置き去りにされてきました。しかし、今年3月10日、チベットで僧侶や市民が抗議活動を起こした結果、ようやく世界がチベットに目を向けはじめています。チベット問題は中国の内政問題ではなく、文明と人の尊厳を脅かす世界共通の問題です。世界がチベットを応援はじめた今、大阪と京都で、多くの皆様にまずチベットを知っていただくために「チベットを知ろう 2008 What's Happening in Tibet」を開催いたします。皆様のお越しをお待ちしています。

ヒマラヤ山脈の北側に広がる、平均海拔4,500mのチベット高原。そのほとんどを占める独立国「チベット」。しかし今、チベットという国はない。1949年、毛沢東の「チベット解放」の宣言とともに、チベットは中国に組み入れられた。圧倒的な國力のもと中国政府によるチベット人の虐殺と弾圧の歴史が始まった。以来600万人しかいないチベット人のうち120万人が殺され、15万人のチベット人がインドやネパールに亡命している。しかし、ほとんどのチベット人たちはダライ・ラマ法王の教えを守り、非暴力を貫いている。

Aプロ

チベット チベット

2005年リニューアル編集版/95分/日本語(英語字幕付)/配給:RAGOS ○監督:キム・スンヨン

◆日本を旅立ち、祖国韓国からダラムサラそしてチベットへ、在日コリアン三世としての自らのアイデンティティとチベット人の近代史をたぐりよせるロード・ムービー。美しい自然光の中で、現代のチベットの悲しみが浮かび上がる。

Bプロ

チベット難民 世代を超えた闘い【日本語版&英語版】

2000年/日本語版108分/英語版120分/日本語・英語/製作・配給・上映協力:10System ○監督:田中邦彦

◆ヒマラヤを越えるチベット人、チベット亡命政府のあるインドのダラムサラに暮らす難民「第3世代」のいまだ見ぬ眞の故郷チベットへの思い…チベット難民の現状を描き出す四部構成の力作。日本語版と英語版日替わり上映。

Cプロ

ヒマラヤを越える子供たち

2000年/ドイツ/29分/英語(日本語字幕付)/配給:チベットサポートグループKIKU

○監督:María Blumenron

◆実際の亡命者に同行した感動的ドキュメンタリー・フィルム。中国の監視を逃れ、過酷な雪のヒマラヤを何日にもわたって越える子供たちと、彼らを命がけで導くガイドの姿。

ダラムサラレポート 難民受け入れセンターとチベット子供村(TCV)を訪ねて

2006年/10分/日本語のみ/製作:Norbu Create

◆亡命政府があるインド北部ダラムサラの難民受け入れセンターや子供たちの生活の様子を取めた貴重なドキュメンタリー。

魂の贈り物

1998年/30分/制作:森林保護ネットワーク

◆1998年に東京・晴海で行なわれたダライ・ラマ法王の講話を中心に、当時の中国政府によるチベット文化の虐殺とヒマラヤの森林破壊を紹介する。当時、毎月200人は下らなかった亡命者へのインタビューも収録。

Dプロ

ダライ・ラマの般若心経

2005年/70分/製作・提供:フライング・ジブ

○監督・撮影:菊地和男 ○製作総指揮・インタビュー:大谷幸三

◆チベット仏教最高指導者であり、観音菩薩の化身であるダライ・ラマ法王が大乗佛教の中心となる「空」を唱えた般若心経について語る貴重なインタビュー映画。宗教、哲学、人類学、さまざまな角度から知性を刺激する鮮烈な映像体験。

ダライ・ラマ 亡命47年

2006年/20分/制作:東海大学

◆チベット自治区ラサと、亡命チベット人が多く暮らすインド、ダラムサラの両方を取り材し、チベットの人々の声を紹介。ダライ・ラマ法王のインタビューも含み、チベットをとりまく政治的背景を知ることができます。

Eプロ

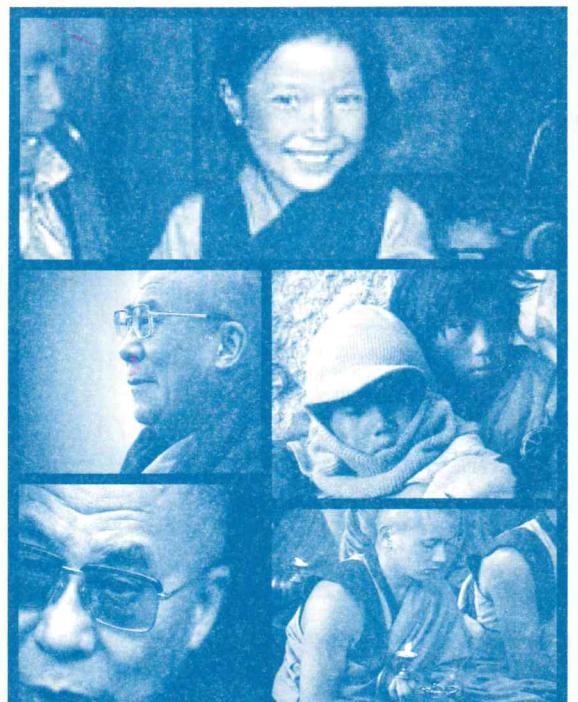
チベットのお香に包まれたカラチャクラ映像体験イベント

ビデオ作品『カラチャクラ』を、チベットのお香を焚いて上映します。

2005年/55分/日本語・企画・制作:Norbu Create

◆遙かな時を越え、ダライ・ラマ法王に継承されていた「カラチャクラ(時の輪の教え)」は、「世界平和のためのカラチャクラ」として、広く世界に伝えられるようになった。2003年、インドでの様子(参加者15万人)を収めたドキュメンタリー。

○特別イベントにつき、本プロのみ入場料500円



2008.7.19sat.→25fri. 各回入替制

7/19(土)	12:20 B	14:20 A	16:15 C	17:50 D
20(日)	12:20 A	14:15 E	15:35 C	17:15 B英
21(祝)	12:20 B	14:25 C	16:00 D	17:45 A
22(火)	12:20 C	13:50 B英	16:00 D	17:40 B
23(水)	12:20 B	14:25 A	16:15 C	17:50 A
24(木)	12:20 A	14:10 C	15:45 D	17:30 B
25(金)	12:20 C	13:55 D	15:35 A	17:20 B英

料金: 当日1回券1200円、高・中・シニア会員1000円、当日4回券4000円、ペアチケット2000円

前売: 1回券1000円、4回券3600円 ※劇場窓口、チケットぴあ(コード:479-522)発売中!

主催:Cinema Nipponia tibet@ab.auone-net.jp http://www.ab.auone-net.jp/nipponia

フレイイベントin京都 チベタン・ルーム

京町家でチベットに関する展示と上映

6月22日(日)午前11時30分～午後5時30分

会場: be-kyoto [町家ギャラリー] 京都市上京区新町通上立売上る

料金: 500円(当日券のみ・小学生以下無料/ただし保護者同伴)

問合せ先: 090-3626-9520 (夜間7時から11時) tibet@ab.auone-net.jp

先着50名様に、ヒマラヤの天然の雪茶茶葉(1杯分)プレゼント

展示:チベットの生活品、仏教の法具、ファイル・書籍:ダラムサラの写真、参考ファイル

や書籍を自由閲覧 上映:「ヒマラヤを越える子供たち」連続モニター上映

SCHEDULE

2008
June
July
シネ・ヌーヴォの
新しいスペース
<発行>シネ・ヌーヴォ
2008年6月1日号

映画の都 山形国際ドキュメンタリー映画祭'89 映画の都ふたたび

山形
映画祭
記録映画

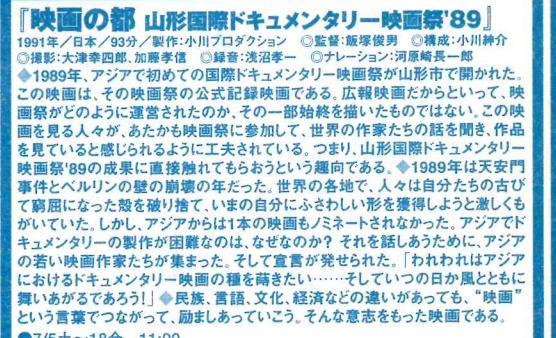
2008.7.5sat.→18fri.
飯塚俊男監督作品

日本を代表する映画祭として世界的に高く評価されている山形国際ドキュメンタリー映画祭。それは故・小川紳介監督が提唱し、市制100周年の記念事業として1989年に始まった。以来、隔年に開かれてきた同映画祭だが、記念すべき第10回となった昨年は、民営化されたNPO法人による実行委員会が初めて主催したのだった。日本中を揺るがす民営化、また文化予算が次々と削られている現状。果たして「ヤマガタ」はどうなるのか、先行きを憂慮する声も多い。そんななか、同映画祭を巡って映画が作られた。それも、第1回の熱気を伝えた『映画の都』の続編として。監督はいずれも元・小川プロの飯塚俊男監督。両作品を同時に上映することで見えてくる日本の文化状況。私たちは、どこへ向かおうとしているのか?

第1回山形国際ドキュメンタリー映画祭のネットワーク発会式(1989年)



ネットワーク発会式

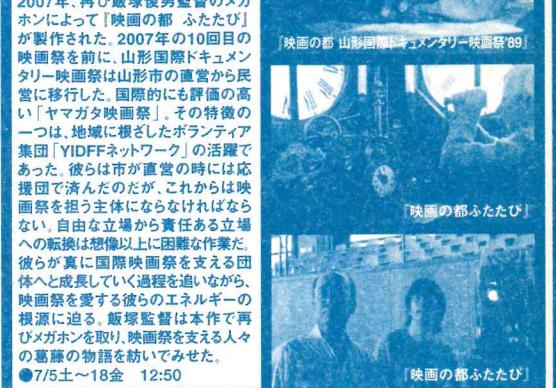


映画の都 ふたたび

1991年/日本/93分/製作:小川プロダクション ○監督:飯塚俊男 ○構成:小川紳介
○撮影:大津幸四郎、加藤信一 ○録音:浅沼周一 ○ナレーション:河原崎長一郎

◆1989年、アジアで初めての国際ドキュメンタリー映画祭が山形市で開かれた。この映画は、その映画祭の公式記録映画である。広報映画だからといって、映画祭がどのように運営されたのか、その一部始終を描いたものではない。この映画を見る人々が、あたかも映画祭に参加して、世界の作家たちの話を聞き、作品を見ている感じられるように工夫されている。つまり、山形国際ドキュメンタリー映画祭'89の成果に直接触れてもらおうという趣向である。◆1989年は天安門事件とベルリンの壁の崩壊の年だった。世界の各地で、人々は自分たちの古びて腐屈になった殻を破り捨て、いまの自分にふさわしい形を獲得しようと激しくがいでいた。しかし、アジアからは1本の映画もノミネートされなかった。アジアでドキュメンタリーの製作が困難なのか、なぜなのか?それを話すために、アジアの若い映画作家たちが集まつた。そして宣言が発せられた。「われわれはアジアにおけるドキュメンタリー映画の種を蒔きたい……そしていつの日か風とともに舞いあがるであろう!」◆民族、言語、文化、経済などの違いがあつても、「映画」という言葉でつながって、励ましあっていこう。そんな意志をもった映画である。

●7/5土→18金 11:00



映画の都 ふたたび

2007年/日本/90分/製作:アムール
○製作・監督・編集:飯塚俊男 ○撮影・編集:渡辺智史 ○音楽:金子健郎

◆1989年、第1回山形国際ドキュメンタリー映画祭の公式記録映画として作られた『映画の都』。18年後の2007年、再び飯塚俊男監督のメガホンによって『映画の都 ふたたび』が製作された。2007年の10回目の映画祭を前に、山形国際ドキュメンタリー映画祭は山形市の直営から民間に移行した。国際的にも評価の高い「ヤマガタ映画祭」。その特徴の一つは、地域に根ざしたボランティア集団「YIDFFネットワーク」の活躍であった。彼らは市が直営の時には応援団で活んだのだが、これからは映画祭を担う主体にならなければならない。それはネットワークの問題だが、私にとっても小川さんから遠く離ることだけでは自立にならない、ということを思い知ることであった。私自身の映画を提起することだ。この映画が、新しく提起する「私の映画」と言い切れる自信があるわけではないが、小川さんに伝えたい、ネットワークで映画を作ったよ、と。

この映画作りを通して発見したことのひとつは、ネットワークが誕生する前史に「1000年刻みの日時計」(87年、小川紳介監督)の上映運動があったということである。この映画の山形県内上映を担ったのは、小川プロではなく、映画の配給と上映を専門にしている映画センターだった。彼らが各地を回り上映委員会を組織する際、作品がひと言で語りきれない難しさがあつただけに、何度も地域の人たちと話し合って上映にこぎつけた。その時間の共有が、映画祭ボランティア「ネットワーク」に移行する力になったのである。映画の作り手だけでなく、見る側、上映する側との間に一つの共同性が作り出されていったことの証左である。

そんな共同性の回復を願って、上映運動に漕ぎ出したいと思う。

●7/5土→18金 12:50

2008.
9.20sat.
26 fri.

金井勝映像個展 Retrospective Katsu Kanai

完全なるオリジナリティ！数々の実験映画を制作し、松井良彦や井上紀州を始め多くの監督たちに影響を与えた前衛映画作家、金井勝。アンダーグラウンド映画花盛りの60年代末に『無人列島』で鮮烈な衝撃を与え、映画に対する既成の概念を覆し、それまでになかった新たな映画の地平を切り拓いた。同作で、ニヨン国際映画祭グランプリを受賞し、一躍世界に躍り出た。以来、新作が発表される都度、その天才的映画作家ぶりに驚かされる。昨年のオーバーハウゼン国際短編映画祭でも回顧展が開催されるなど国際的な評価もますます高まっている。そんな彼の全貌に迫る特集上映を神戸映画資料館と共同開催！「グレート！貴方は映画の革命家だ！」（昨年のオーバーハウゼン映画祭で）

Aプロ

歌・句・詩シネマ 時が乱吹く 1991年/62分

◆短歌篇『夢走る』、俳句篇『一本勝負の蟲斯』、詩篇『ジョーの詩が聴える』に幕間2景を挟んで完成させて、映像詩人・城之内元晴への追悼作品。しかし、ただの追悼映画ではござんせんぞ！

夢走る 1987年/17分 ◎撮影：細井晴明、永井弘義 ◎美術：高根浩明 ◎音楽：森順治、高橋修二

◎出演：城之内元晴、高橋孝英、高橋葉子 ■1988年メルボルン映画祭最優秀短編劇映画賞受賞

◆時代劇の実験映画、ご隠居の恋文を持って東海道をひた走る若き飛脚・五郎兵衛。その五郎兵衛も恋に落ちて、この老若・恋の勝負の結末はいかに…？

一本勝負の蟲斯 キリギリス

1988年/11分 ◎撮影：細井晴明、永井弘義 ◎美術：高根浩明 ◎出演：金井勝

◆400フィート巻きのフィルムを詰めたカメラが家の間をワンショットを巡り、勝丸の日常と妄想とを白日の下に曝け出す個人映画！

ジョーの詩が聴える

1989年/22分 ◎撮影：細井晴明、永井弘義 ◎美術：高根浩明 ◎出演：城之内元晴、亘真紀、金井勝

◆『夢走る』でご隠居の役を演じた城之内元晴は既に鬼籍の人。その彼の作品『新宿ステーション』の詩が庭を這うラストシーンは圧巻！

Bプロ

聖なる劇場 1998/29分 ◎出演：大阪徳、佐藤重臣、城之内元晴、大和屋竺

◆舞台作りと、小鳥や魚、昆虫など、脇役たちのパフォーマンスの瞬間を捉えるのに長い歳月かけた作品（この部分はまだ進化する）。やがて、黄泉の国の住人たちがそこに舞い降りてきて、「我を見よや！」と競演を繰り広げるのだ！

スーパードキュメンタリー前衛仙術

2003年/33分 ◎演出・撮影・音楽・編集：金井勝 ◎特殊撮影：吉本直樹 ◎出演：金井勝丸、智女、雉鳩一家、ナオキ

■第50回オーバーハウゼン国際短編映画祭 国際批評家連盟賞（2004年）

◆映像作家・金井勝が自分の中に棲む〈別人〉勝丸をドキュメント。前衛仙術なるものを編出した勝丸は次々と奇跡を起こすが、それは決して絵空事ではないミクル。他に類例のない怪作にして快作！

Cプロ

無人列島 1969年/55分 ◎脚本：金井勝、山崎佑次、宮田雷

◎撮影：鈴木正美、佐藤恭朗 ◎美術：山崎佑次 ◎出演：串田和美、河西都子、ゼロ次元

■スイス・ニヨン国際ドキュメンタリー映画祭グランプリ（1970年）

◆少年時代からの体験と妄想に、日本の（将来を含めた）戦後史を加えて、瘤だらけの網のように編み上げた作品。これは悪夢か、現実か？ 真昼の闇を主人公・日出が突っ走る！

Dプロ

GOOD-BYE 1971年/52分 ◎脚本・撮影：金井勝 ◎共同脚本：むさび童子

◎撮影：亘真幸、山崎佑次、富塚良一 ◎美術：山崎佑次 ◎出演：むさび童子、松井康子、金井勝

◆日本人の血の流れを求めて戒厳令下の韓国ロケ実行！そこに生じた鮮烈なドラマが、緊張感の中におかしさを滲み出させて、あなたの脳天を撃つ！

Eプロ

王 1973年/80分 ◎脚本：金井勝、むさび童子 ◎撮影：亘真幸、吉田耕二

◎出演：むさび童子、大和屋竺、城之内元晴

◆全てをからめとってしまう「時間の神」に超然と立ち向かう若き詩人・五九勝丸。その冒險の旅は八王子から遙かなるガラバゴスへと進み、更にその中天へと駆け昇る！ とてもなくキッシュな新しい神話。

★神戸映画資料館（tel.078-754-8039）でも、本企画を9/20(土)・21(日)同時開催!!

金井勝監督プロフィール

1936年、神奈川県生まれ。57年日大の映画学科に入学。60年に大映東京撮影所の撮影課に入社。64年に大映を退社してフリー。69年に処女作『無人列島』を制作、その後『GOOD-BYE』『王国』などを発表。86年、城之内元晴らと短篇『夢走る』を撮る。これは映像での詩歌集を考えての短歌篇で、特殊撮影で新しい映像の発見を試みるが、城之内が交通事故で亡くなる。87年にその短歌篇『夢走る』、89年に俳句篇『一本勝負の蟲斯』、89年には詩篇『ジョーの詩が聴える』を発表。『時が乱吹く』は城之内元晴への追悼作品。2007年のオーバーハウゼン国際短編映画祭では回顧展が開催され、話題を呼んだ。



2008.9.20sat.→26fri. 各回入替制

9/20(土)	12:30 A	14:40 C	15:55 D	17:05 E	18:40 B
21(日)	12:30 E	14:10 D	15:25トーカ	17:20 A	
22(月)	12:30 C	13:45 A	15:55 D	17:05 B	18:25 E
23(火)	12:30 D	13:40 B	15:00 E	16:40 C	17:50 A
24(水)	12:30 E	14:10 D	15:20 B	16:40 A	18:50 C
25(木)	12:30 C	13:40 A	15:50 D	17:00 E	18:40 B
26(金)	12:30 A	14:40 E	16:20 C	17:30 B	18:50 D

金井勝監督来館!!

9/21(日)15:25 金井勝監督トークショー (Cプロの上映前)

料金：当日1回券1300円、学生・シニア・会員1000円、当日3回券3300円
前売：1回券1000円、3回券2700円、全プロ券4000円

SCHEDULE

Ciné Nouveau X シネ・ヌーヴォ X スケジュール

2008 Aug Sep
シネ・ヌーヴォの
新しいスペース
<発行>シネ・ヌーヴォ
2008年8月1日号

LE TOUR DE FRANCE ツール・ド・フランス

ツール・ド・フランス 3作品特集上映

地球上で最も過酷なスポーツイベントと言われるツール・ド・フランス。毎年7月には、世界中から選ばれし男たちがフランスに集まり、それぞれのチームの威信と誇りを背負いスピードと忍耐力を競い合う。ツール・ド・フランスの知られざる真実がここにある!!

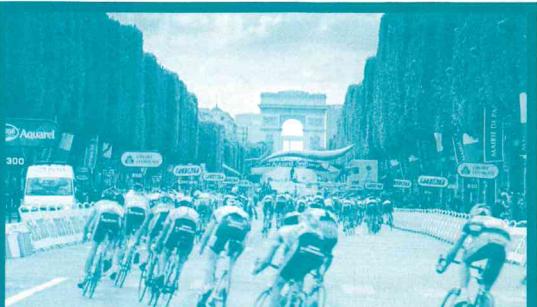
8/30(土)～9/26(金)
ツール・ド・フランス3作品連続上映!!

ツアーオペレーター 知られざるツール・ド・フランス

2001年/フランス/100分/提供:J SPORTS、アップリンク

◎監督:ジャン・クリストフ・ロゼ ◎出演:ランス・アームストロング、ディヴィッド・ミラー

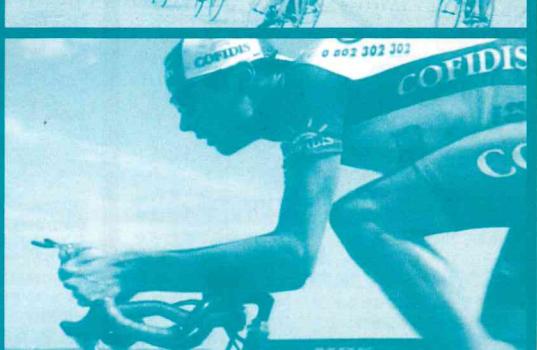
2000年のツール・ド・フランス。カメラは「コフィディス」の栄光と敗北を、初めて内部関係者の視点で追う。「コフィディス」の期待の若手ディヴィッド・ミラーがプロロードで、伝説のレーサー、ランス・アームストロング(USポスター)を破りトップタイムを叩き出す。しかし、中盤、癌から復帰後の2連覇をかけたランス・アームストロングが遂にその圧倒的な強さを見せつける！ ツール開催中の選手の苦悩と葛藤、表では決して吐かれない弱音、そして仲間同士のリラックスした会話など、そこにはレース観戦では知ることのできない多くのドラマがある。なぜツール・ド・フランスはこんなにも人々を惹き付け、熱狂させるのか。なぜ選手は肉体の限界まで挑戦し、報われないかもしれないゴールを夢見るのか。フランスの広大な自然の中、選手と彼らを支える仲間たちの真実を追う。壮絶なレースの裏側、そこには闘う者にしか見えない景色がある。



ツール・ド・フランス オフィシャル・ヒストリー 1903-2005

2003年/イギリス/114分/英語/提供:J SPORTS ◎演出:エディ・メルクス、グレッグ・レモン、ランス・アームストロング、他

100年で次々に誕生する偉大なチャンピオン、その歴史を辿る1903年から2003年までのツールの歩んだ歴史をパリ～ニースで前人未到の7連勝(1982-1988)を遂げた名選手ジョン・ケリーが解説。ツール黎明期の映像やエディ・メルクス、グレッグ・レモン、ランス・アームストロングなど選手へのレース直後のインタビューなどを織り交ぜながらその歴史を綴る。次々に誕生する偉大なチャンピオン、競うことなく挑むライバル。100年以上にわたるツールの多彩にして驚くべき歴史を一気に描き出す。



マイヨ・ジョーヌへの挑戦 ツール・ド・フランス100周年記念大会

2004年/ドイツ/カラー/123分/提供:アップリンク

◎脚本・監督:ヘベ・ダンカート ◎出演:エリック・ツァベル、ロルフ・アルダーク、アンドレアス・クレーデン

ドイツのチーム「チーム・テレコム(現T-Mobile)」の視点から、開催100周年を迎えた2003年のツール・ド・フランスを描いたドキュメンタリー。ツールがどの様に発展して行ったかを過去の映像を交えて紹介しつつ、「プリズナー・オブ・ストリート(道の囚人)」と呼ばれるプロのサイクリスト達が、負けるとわかりながらも挑んでいく姿を描き出す。レース中に起きた様々なアクシデント、サポートカーの中の様子、落車して怪我をした選手のインタビューと手当の様子、選手たちの不安…。マイヨ・ジョーヌを着る事を目指し、自分との闘い、そして大自然との嬉しいとも思える闘いに挑む選手達の姿は、あまりにも美しい。



8/30(土)～9/5(金) 20:30 ツアーオペレーター／知られざるツール・ド・フランス (1日1回上映)

9/6(土)～9/12(金) 20:30 ツール・ド・フランス オフィシャル・ヒストリー1903-2005 (1日1回上映)

各回入替制

9/13(土)	10:50 ツアーオペレーター	12:50 オフィシャル・ヒストリー	15:10 マイヨ・ジョーヌへの挑戦	17:40 ツアーオペレーター
14(日)	10:50 マイヨ・ジョーヌへの挑戦	13:20 ツアーオペレーター	15:20 オフィシャル・ヒストリー	17:35 マイヨ・ジョーヌへの挑戦
15(月)	10:50 オフィシャル・ヒストリー	13:10 マイヨ・ジョーヌへの挑戦	15:45 ツアーオペレーター	17:45 オフィシャル・ヒストリー
16(火)	10:50 ツアーオペレーター	12:50 オフィシャル・ヒストリー	15:10 マイヨ・ジョーヌへの挑戦	17:40 ツアーオペレーター
17(水)	10:50 マイヨ・ジョーヌへの挑戦	13:20 ツアーオペレーター	15:20 オフィシャル・ヒストリー	17:35 マイヨ・ジョーヌへの挑戦
18(木)	10:50 オフィシャル・ヒストリー	13:10 マイヨ・ジョーヌへの挑戦	15:40 ツアーオペレーター	休 映
19(金)	10:50 ツアーオペレーター	13:00 オフィシャル・ヒストリー	15:20 マイヨ・ジョーヌへの挑戦	17:50 ツアーオペレーター
9/20(土)～26(金)	10:30 ツアーオペレーター／知られざるツール・ド・フランス			(1日1回上映)

料金

●前売券 1300円
(「ツアーオペレーター」)

●当日券

●「ツアーオペレーター」
一般・学生1500円、
高以下・シニア・会員1000円

●他2作品

一般・学生1200円、
高以下・シニア・会員1000円

●当日3作品券:3000円

●自転車割引券:
一般・学生当日料金より
200円引き(自転車でご来場の方
はお申し出ください)

8/8(金)までモーニング&レイトショー ネコナデ

2008年/日本/85分/配給:AMGエンタテインメント
◎監督:大森美香 ◎原案・脚本:永森裕二 ◎撮影:近藤龍人
◎照明:藤井勇 ◎音楽:古谷正志 ◎美術:高尾研史
◎出演:大杉道、青山倫子、黒川芽以、入山法子、立花彩野、海東健、もたいまさこ、岩瀬次郎、原田日出子、鶴見辰吾

一流企業の人事部長としてリストラを担当する鬼塚はある晩に公園でボールに入った子猫を見つける。一度は無視して通り過ぎたものの、結局は子猫をこっそり自宅に連れ帰ってしまう。これまでの厳格な態度のせいで妻や娘にそのことを言い出せない彼は、会社が研修用に借りている施設の一室で子猫を飼い始める…。愛くるし満載! 日本中が待ち望んだ子猫映画の決定版が登場する。企業戦士として働いてきた男が1匹の子猫に翻弄され、新しい人生へと踏み出すまでを描いたハートウォーミングストーリー、いたいけな子猫の魅力で人々が少しづつ変化していく過程をじっくりとカメラがとらえる。監督は「デトロイト・メタル・シティ」などの脚本も手掛けける期待の女性監督・大森美香。撮影は近藤龍人。あまりにも愛くるしい子猫のしぐさと表情を見ているだけで、心温まる話題作。

●7/26土～8/8金 10:50/20:30



8/8(金)までロードショー 少林老女

2008年/日本/72分/カラー/配給:ジョリー・ロジャー
◎監督:寺内康太郎 ◎脚本:寺内康太郎・カロルコ ◎撮影:関根史
◎演出:浅見千代子、長澤奈央、仙波和之、漆沢啓介、矢崎まなぶ、千太郎、太地翠恵、上島竜兵

人里離れた山奥にある「少林寺」。ここで門下生と共に修行を営んでいる「少林老女」こと美代子はある日、「一本足」と名乗る武術の使い手に敗れ、少林寺を奪われてしまう。都会に追いやりられ、ショーヤンとしての生活を余儀なくされた美代子だったが、彼女は今まで味わったことのない「人並みの生活」にどっぷりと酔いしれてしまう。恋に溺れ、幸せを掴んだ美代子。しかしその前に、彼女には果たさなくてはならない闘いがあった…。少林老女を演じるのは「ダウントン・ガのガの使いやあらへんで!!」で「キスおばちゃん」としてお馴染みの浅見千代子が最強老女として見事見参! そして上島竜兵も出演し、夢の共演(?)を果たす。常識と世代を超えた対決が巻き起こす、すべてのジャンルを超越した誰もが観たことのないカンフー映画がここに誕生した!

●7/26土～8/8金 12:40/14:15/15:50/17:25/19:00



8月

1 fri	2 sat	3 sun	4 mon	5 tue	6 wed	7 thu	8 fri	9 sat	10 sun	11 mon	12 tue	13 wed	14 thu	15 fri	16 sat	17 sun	18 mon	19 tue	20 wed	21 thu	22 fri	23 sat	24 sun	25 mon	26 tue	27 wed	28 thu	29 fri	30 sat	31 sun
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

『ネコナデ』10:50
一般1700円、学生1400円(前売1300円)
高・中・小・シニア・会員1000円

『少林老女』
12:40/14:15/15:50
17:25/19:00
一般1500円、学生1200円(前売1300円)
高校・中・小・シニア・会員1000円

『ネコナデ』
20:30(終21:55)
一般1700円、学生1400円(前売1300円)
高・中・シニア・会員1000円

8/9(土)～ロードショー 靖国 YASUKUNI

2007年/日本・中国/カラー/123分/配給:ナインエンタテインメント
◎監督:李綏 ◎撮影:堀田泰寛、李綏 ◎編集:大重裕二、李綏

◎照明:藤井勇 ◎音楽:古谷正志 ◎美術:高尾研史

◎出演:大杉道、青山倫子、黒川芽以、入山法子、立花彩野、海東健、もたいまさこ、岩瀬次郎、原田日出子、鶴見辰吾

今年、日本中を揺るがした問題作『靖国』。この映画になぜあれほど多くの拒否反応が起きたのか。何を見せたくなかったのか。何が問題なのか…。今年もやってくる8月15日をはさんで、まさに検査のロードショー決定!! 「靖国神社」には、もうひとつの日本の歴史がある。日本人にとって複雑な思いを抱かせる、アジアでの戦争の記憶をめぐる歴史だ。日常は平穡そのものだが、毎年8月15になると、そこは奇妙な祝祭的空間に変貌する。旧日本軍の軍服を着て「天皇陛下万歳」と猛々しく叫ぶ人たし、外れな主張を述べて星条旗を掲げるアメリカ人、境内で催された追悼集会に抗議し参列者に袋叩きにされる若者、日本政府に「勝手に合祀された魂を返せ」と迫る台湾や韓国の遺族たち、狂乱の様相を呈する靖国神社の10年間にわたる記録映像から、アジアでの戦争の記憶が、観る者の胸を焦がすように多くを問いかねながら鮮やかに甦ってくる。そして知られる真実がある。靖国神社のご神体は日本刀であり、昭和8年から敗戦までの12年間、靖国神社の境内において、8100振りの日本刀が作られていたのだ。「靖国刀」の铸造を黙々と再現してみせる現役最後の刀匠。その映像を象徴的に構成しながら、映画は「靖国刀」がもたらした意味を次第に明らかにしていく。私たちが見なくてはならない現実ここに!!

●8/9土～15金 10:30/12:55/15:20/17:45/20:10

●8/16土～29金 10:00/12:25/19:50



「靖国」に寄せられた声(『靖国』HPより)

アレクサンドル・ソーキロフ(『太陽』『牡牛座』監督)

映画監督、李綏は唯一無二という意味でユニークなタイプのプロフェッショナルな映画人だ。多くの作品を創ってきており、今回もこの「靖国」を見て、高度な完成度、明快さと簡潔さに驚かされた。彼は非凡の打ち所なくモータージャーを行っており、自分なりに映画の時間を感覚し、この感覚したこと全てを現実の映画に絶妙に変容させる。李綏は輝かしいばかりのドキュメンタリー技術を身につけており、彼のドキュメンタリー映画は一定のプロセスを踏査した結果であるばかりか、描れ動く感情の物語である。これはまさに文学の巨匠ができるのである。「靖国」は、ドキュメントであり歴史でもある物語を芸術作品に変容する李綏の能力を遺憾なく發揮しており、私にとって極めて重要な作品になった。彼のこの能力に感嘆せられる。私はすべての映画プロデューサーに、何らかの力を持つすべての人々に呼びかける。この才能が監督を助けてください。支えてください。作品を見てください。彼の才能を大事に、大事にしてください。

ステイブン・オカザキ(『ヒロシマナガサキ』監督)

これは今まで作られた日本のナショナリズムに関する映画の中で、最も重要で優れた作品だ。挑発的でありながら、熟慮されていて、作為的なところがなく誠実である。この映画のすべてのフレームに「眞実」が宿っている。

綿井 健陽(フリージャーナリスト、『Little Birds』監督)

「靖国神社」に行ったことがある人も、「靖国神社」に行つたことのない人も、実は「靖国」のことは何も知らないかも知れない。映画『靖国』が映し出す光景から、もう一度考え直した。

8/16(土)～ロードショー ファヴェーラの丘

2005年/アメリカ/81分/配給:ナウマンメディア

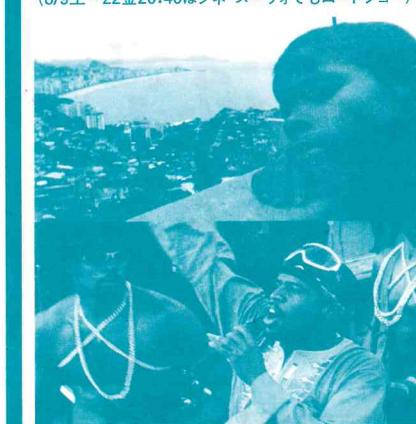
◎監督:ジェフ・シン・パリス、マット・モチャリ

◎出演:アーテルソン・サー、ホセ・ジニオール、マルシオ・ニューンズ、アンドレ・ルイス・アゼヴェード、エニール・ウェトゥラ

麻薬ギャング、腐敗した警察官に支配されたリオデジャネイロのスマッシュ街は「ファヴェーラ」と呼ばれる。パレスチナ紛争により多くの若者が死にゆく街だ。本作は、数あるファヴェーラの中でも最も危険な地区として知られるヴィガリオ・ジェラウを舞台に、絶望的で息詰まるような日々から、希望ある未来を子供たちに示すう立ち上がった男を追ったドキュメンタリーである。男の名は、アンデルソン・サー、家族や多くの友人をギャングや警察に殺されたアンデルソンは、悲しみとともに「なぜ憎しみ、殺し合うのか? どうすれば暴力を止められるか?」を考え始めた。「音楽は誰の胸にも響く!」ひと筋の光を見出した元麻薬密売人の彼は、仲間とともに「アフロレゲエ」というグループを結成。自らの悲劇を繰り返さないため、ギャングを夢見る子供たちを救うため、銃や暴力ではなく音楽やダンスを武器に、ファヴェーラの丘に希望のリズムを響かせる。本作は、世界中の映画祭で20を超える賞を受賞するなど高い評価を得ている。

●8/16土～29金 14:50/16:30/18:10

(8/9土～22金20:40はシネ・ヌーヴォでもロードショー)



連日整理券発行(各回完全入替制)

●連日朝より当日分の整理番号つき入場券の販売を開始します。ご入場は各回10～15分前より整理番号順となりますので、前売券なども受付にて入場券とお引き換え下さい。完全入替制となりますので、ご注意ください。

●シネ・ヌーヴォXは、すべてデジタルDLP上映となります。

シネ・ヌーヴォXのスペースを開放!

上映会を企画してください。貸館募集!!

●シネ・ヌーヴォXは、座席30の多目的フリースペース。上映会、ワークショップなど、貸し出しも行なっております。



8/30(土)～ロードショー ちいさな恋のものがたり

2008年/日本/141分/配給:Surfrider

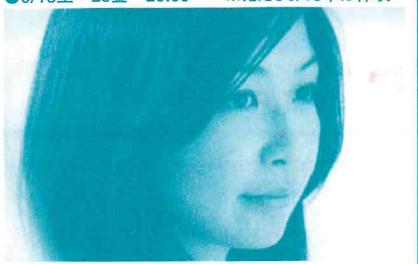
◎監督:萩原将司 ◎脚本:萩原将司、坂本敏 ◎撮影:西垣文順

◎出演:小野真弓、田中幸太朗、波岡一喜、宮地真緒

母親を亡くした有希は父親を探すために上京するが、東京駅で父の写真とお金を紛失。そんなとき、有希はバンド活動をしている良太と美沙、バンドをやめた助けられる。現実の壁にぶつかった彼らもまた、有希の真っすぐな性格に触れ、徐々に変化していく。さまざまな事情を抱えながら、東京に暮らす若者たちの姿を描く青春ドラマ。癒し系人気女優・小野真弓扮する父親を探すために上京した女性・有希と出会った登場人物たちが、自分たちの行き先を模索し、やがて新たな人生への一步を踏み出す。共演は、ソフトバンクのCMで上戸彩の恋人役で出演中の田中幸太朗、そして波岡一喜、宮地真緒。切ない恋愛に悩み、夢と現実のはざまで躍動する現代の若者の心の機微を丁寧にすくいあげた感動作。

●8/30土～9/12金 10:20/12:50/15:20/17:50

●9/13土～28金 20:00 ※ただし9/18木は休映



COMING SOON

10/4(土)～ロードショー ロックンロール★ダイエット!

2008年/日本/102分/配給:バイオタイプ ◎監督:元木隆史 ◎原作:中丸謙一朗 ◎脚本:神尾美

◎出演:鶴大輔、長澤奈央、波瑠、紗綾、ウガンド・トラ、三原じゅん子

中年太りで家族から煙たがられている元ロックンローラーが、ダイエットとバンドの再結成に挑むホームドラマ。家族の危機と娘のビーチを前に鶴大輔扮する元ロッカーゲーが甘えた自分にむち打ち、同じく見るも無惨に太ってしまったかつてのバンド仲間とともに奮闘する。監督は大阪芸大出身の元木隆史。コラムニスト中丸謙一朗の著作を基に作り上げたハートウォーミング怪作!!

10/18(土)～ロードショー キズモモ。

2008年/日本/70分/配給:ハイオタイプ ◎監督:山本透 ◎原案:細井真奈美

◎出演:馬場徹、古川雄大、河合龍之介、水木麻、小林且弥、甲本雅裕、綿本順吉

「天使が降りた日」の新鋭、山本透監督が手掛けた青春ロード・ムービー。心を閉ざした青年が旅先で命運的な出会いを果たし、新しいスタートを切りて繊細なタッチで描く。主人公を演じるのは、「カ_FORCE代官山」の馬場徹。相手役はミュージカル「テニスの王子様」の古川雄大。若手美形俳優陣たちのフレッシュな魅力や、青春の痛みと輝き、さらに情感豊かな優しい時間に満ちた感動作。

10/18(土)～ロードショー アシンメトリー

2008年/日本/75分/カラー/配給:ビデオプランニング ◎監督:佐藤善也 ◎脚本:開えり香

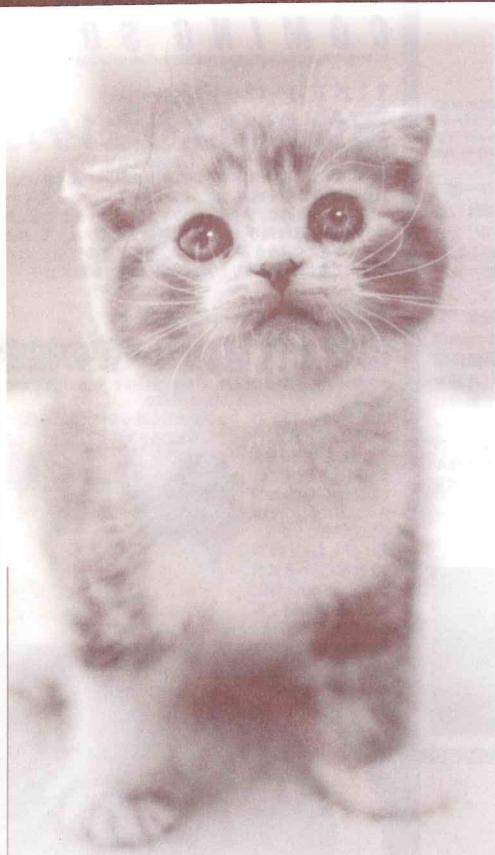
◎出演:和田正人、荒木宏文、佐津川愛美、工藤勇太、工藤潤也、佐伯新、神谷美花、佐藤二朗、志賀廣太郎

親友に恋心を抱く青年と、その気持ちに困惑する若者の微妙な関係をつづった青春映画。高校時代の親友に思いがけずに再会し、再び友情を築くまでを繊細なタッチで描く。若手俳優団体「D-BOYS」の和田正人と、「テニスの王子様」の荒木宏文が初主演、「奈緒子」の若手実力派女優・佐津川愛美、「グ・チョコレート・パイン」の金井勇太が共演。若手美形俳優2人が無邪気にたわむれる姿や傷心の横顔も中美しく描かれている。

【アシンメトリー】

【トラ・コネ Triangle Connection】

【アシンメトリー】



ネコ、こねこ……ネコがいっぱい! ねこ映画特集

ネコの魅力満載! ネコが主役のねこ映画5本一挙上映!!

2008.9.27 sat.→10.17 fri. ●各回入替制●

9/27(土)	11:10 ネコナデ	12:55 こねこ	14:40 ミリキタニの猫
28(日)	11:10 コマネコ	12:35 ネコナデ	14:20 本日の猫事情
29(月)	11:10 こねこ	12:55 本日の猫事情	14:20 ネコナデ
30(火)	11:10 ネコナデ	13:00 ミリキタニの猫	14:35 コマネコ
10/1(水)	11:10 本日の猫事情	12:35 ネコナデ	14:20 こねこ
2(木)	11:10 ミリキタニの猫	12:50 本日の猫事情	14:20 ネコナデ
3(金)	11:10 ネコナデ	13:00 コマネコ	14:30 本日の猫事情
4(土)	15:30 ネコナデ	17:15 こねこ	19:00 コマネコ
5(日)	15:30 ミリキタニの猫	17:10 ネコナデ	19:00 本日の猫事情
6(月)	15:30 こねこ	17:20 本日の猫事情	18:45 ネコナデ
7(火)	15:30 ネコナデ	17:15 コマネコ	18:40 こねこ
8(水)	15:30 本日の猫事情	17:00 ミリキタニの猫	18:35 ネコナデ
9(木)	15:30 ネコナデ	17:20 本日の猫事情	18:40 こねこ
10(金)	15:30 こねこ	17:20 ネコナデ	19:10 コマネコ
11(土)	15:30 ミリキタニの猫	17:10 コマネコ	18:35 ネコナデ
12(日)	15:30 ネコナデ	17:15 こねこ	19:00 ミリキタニの猫
13(月)	15:30 ミリキタニの猫	17:10 ネコナデ	19:00 コマネコ
14(火)	15:30 こねこ	17:20 本日の猫事情	18:45 ネコナデ
15(水)	15:30 ネコナデ	17:20 ミリキタニの猫	19:00 コマネコ
16(木)	15:30 コマネコ	16:55 ネコナデ	—
17(金)	15:30 ミリキタニの猫	17:00 こねこ	18:45 ネコナデ

『ネコナデ』

2008年／日本／85分
監督：大森美香
原案・脚本：永森裕二
撮影：近藤龍人
出演：大杉漣、青山倫子、黒川芽以、
入山法子、立花彩野、もたいまさこ、
螢雪次朗、海東健、原日出子、鶴見辰吾

『こねこ』

1996年／ロシア／84分
監督：イワン・ボーフ
脚本：アレクサンドル・マリヤモフ
撮影：ウラジーミル・ファステンコ
美術：リーナ・マルツ
出演：アンドレイ・クズネツォフ、
リュドミラ・アリナ

『本日の猫事情』

2007年／日本／62分
監督：中川究史
原作：いわみちさくら
脚本：庵目けい子
音楽：カンガルー・鈴木
出演：大桑マイミ
声の出演・主題歌：平野綾

『こま撮りえいが こまねこ』

2006年／日本／60分
監督・原作：合田経郎
アニメーター：峰岸裕和、大向とき子、他
撮影：長坂正文、福塚廣 美術：渡辺信二
音楽：akamachi+nagie
人形：阿彦よし子
声の出演：平野綾

『ミリキタニの猫』

2006年／アメリカ／74分
監督・製作・編集：リンド・ハッティンガーフ
編集：出口景子
製作・撮影：マサ・ヨンカワ
2006年東京国際映画祭「日本映画・ある視点」部門最高賞受賞
2006年トライベッカ映画祭観客賞受賞他



SCHEDULE

Ciné Nouveau X シネ・ヌー・ヴォ X スケジュール

2008 Oct Nov
シネ・ヌー・ヴォの
新しいスペース
<発行>シネ・ヌー・ヴォ
2008年10月1日号

+1プラスワン vol.2

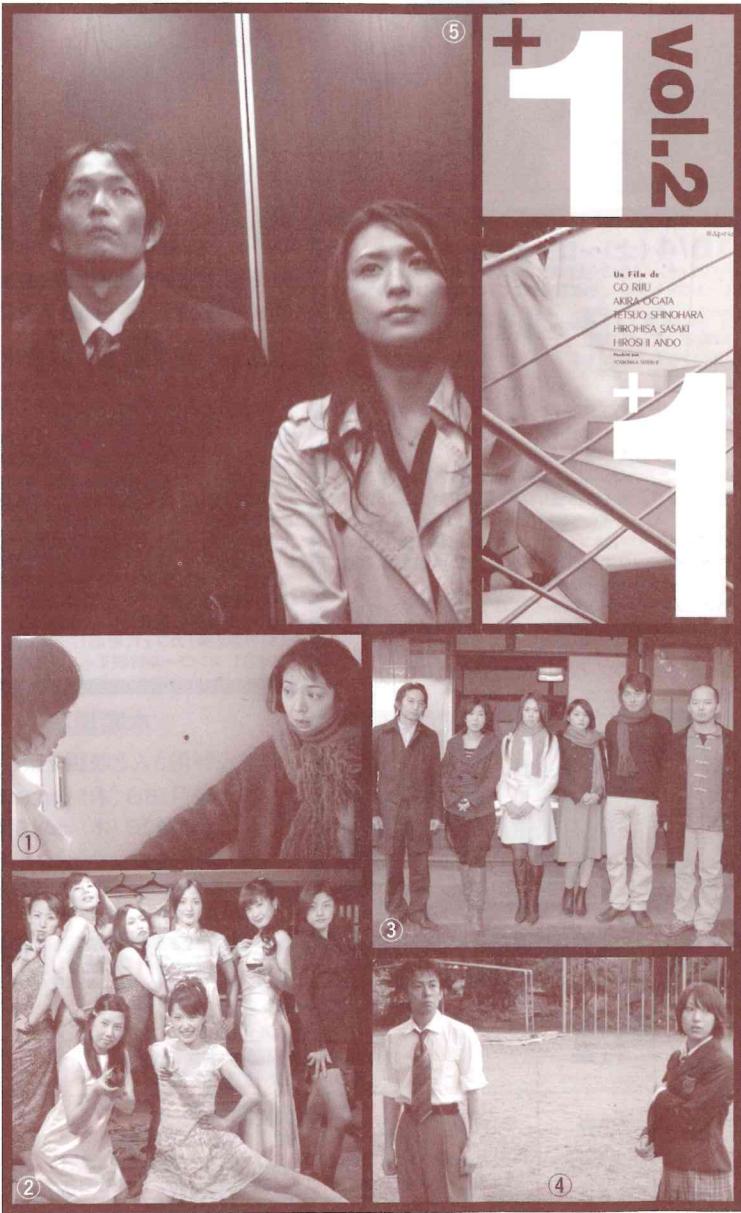
2008年／日本／オムニバス／103分／カラー
監督：利重剛+緒方明+篠原哲雄+佐々木浩久+安藤尋

映画監督たちによる俳優のワークショップから再び映画が生まれた。監督の提示する物語のスケッチを基に、プロアマを問わずオープンに参加した俳優たちが4日間かけて演技を練り上げてゆくワークショップ。監督にとっても、なんの制約もしがらみもなく自由に作品にだけ向き合える至福の時間。利重剛、緒方明、篠原哲雄、佐々木浩久、安藤尋…5人の監督と俳優たちとのセッションによって生まれたバラエティ豊かな作品群。究極のインディーズ短編映画第2弾。

11/22(土)～ロードショー!! 『+1プラスワンvol.2』

2008年／日本／オムニバス／デジタル／103分／製作・配給ニアブレ

◆ワークショップから生まれた短編映画集第2弾。プロアマ問わず参加した俳優たちが、映画監督の提示する物語のラフスケッチを基に、意見交換しながら4日間かけてシーンを練り上げていくアフレ・ワークショップの中から生まれた珠玉の映画たち。『+1プラスワン』は、いわゆる商業映画とは違い、監督と俳優たちが、あふれる情熱のみで作り上げた作品。だからこそ、俳優の生の息遣いや、監督の発想のメカニズムに触れることが出来る究極のインディーズ体験。◆監督は、安藤尋（『blue』）「僕は妹に恋をする」、利重剛（『BeRLIN』『クロエ』）、緒方明（『独立少年合唱団』）『いつか読書する日』）、篠原哲雄（『月とキャバツ』『山桜』）、佐々木浩久（『発狂する唇』『ケータイ刑事 THE MOVIE』）、いずれも日本映画に斬新かつ鮮烈な作品を発信し続ける映画監督たち。俳優たちとのセッションによって生まれた5作品は、第2弾の今回もまさにバラエティに富んだラインアップとなって登場する!!



決心をすること

(11分)

監督：利重剛／出演：いがらしよ・優喜／撮影：小倉和彦・志田貴之／録音：道川昭如／音楽：今野登茂子／監督協力：滝澤修／応援：服部竜三

夜明け前。言葉にならない言葉を繰り返し呟きながら、ひとりただひたすら歩き続ける京子。彼女は何を決心し誰に伝えようとしているのか。

靴ヶ浜温泉コンパニオン控室

(17分)

監督：緒方明／出演：滝山聰、林麻耶、原田砂穂、西野まり、杉山康成、渡辺陽介、和泉紀夏、大瀧麻紀子、和田光沙／脚本：甲斐博和／撮影：今井巧／録音：中山隆匡／編集：太田義則／助監督：奥泰典、米里圭

コンパニオン達の姉御的な存在だった雪美の葬儀の後、反抗的な態度を取る妹の華美は周囲に迷惑をかけ続ける。しかしかつて雪美の恋人だったマネージャーの安二だけは妹に姉の面影を見る。

悪意

(26分)

監督：篠原哲雄／出演：中台あきお、堀川あつこ、富里亮、石川麻衣、草光純太、中村莉介、佐藤有里子、大野紀子／脚本：吉田浩太／撮影：永藤芳伸／照明：松本竜司／録音：小林武史／助監督：金井純一／音效：塩井亨介／音楽：shezoo

父親が倒れ、久しぶりに家族が集まる。父親を弔ひの介護している次男。彼を愛しく思う長男の妻、遺産のこばりを気にする長男。ズケズケとモノを言う長女と小心の夫。自由奔放に暮らしてきた次女。そして介護ヘルパー。それぞれの思惑がぶつかりあいドラマは思わぬ方向に展開していく。

対話

(20分)

監督：佐々木浩久／出演：山中茂樹、福原拓也、清原一乃、北山ひろし、小柳麻衣、大瀧麻紀子、武田京子／助監督：若林将平／録音：森原大輔／制作：おおなりてつや

自殺した友達の為に彼女が通った高校に花を撒げに行く少女が、担任だったという教師に出会う。もうすぐ廃校になるその学校では教師が生徒と援助交際をしている事件が発覚していた。息詰まる時間の中、誰もが出口を求めるように必死にもがき続けている。

いつかあの日となる今日

(29分)

監督：安藤尋／出演：藤真美穂、鶴下佳昌、齊藤彰、朝香賀實、中村純子、向井章介、江島裕二／脚本・撮影：伊藤裕満／録音：高田伸也／音楽：英美記／制作・助監督：末武和也、玉澤恭平

同窓会で再会したかつての恋人同士は、お互いまだ未練があることを感じが、もう二度とヨリを戻すことないことを分かっている。雨が静かに降り続いている。

上映時間=11/22(土)～28(金)12:15/14:20/16:25/18:30 11/29(土)～は上映時間未定
※ただし、初日11/22(土)のみ11:30/14:20/16:25/18:30
(1回目11:30の上映後)
初日舞台挨拶!! 11/22(土) 安藤尋監督、出演：藤真美穂さん、鶴下佳昌さん来館!!

9/27(土)~ロードショー TOPLESSトップレス

2007年／日本／108分／配給:TOKYO SAKURA PRINT
 ○監督・脚本:内田英治 ○原案:渡辺プリ ○撮影監督:百東尚浩
 ○録音:野際龍 ○出演:清水美那、奥田恵梨香、大政絢、坂本寅、河合龍之介、小林沙世子

自由奔放に生きるレズビアンの女子大学生・夏子は失恋の寂しさを紛らわすため、手当たり次第にナンパを始める。一方、夏子の恋人だった保守的で繊細な朋美は生まれて初めて男の恋人を作り、結婚という道を選ぶ。そんな中、夏子の前に幼いころ薙発した母を探している女子高生・カナが現われる…。漠然とした不安を抱えながらも前向きに生きる、女子同士の恋愛を描くガーレブ・ムービー。レズビアンたちの恋愛を独特の感性で語って女性話を中心に話題になった渡辺プリの原案を、「ガチャポン」の内田英治監督が映像化。レズビアンでありながら自由奔放に生きるヒロインに「野獣行」の清水美那、その恋人役に「Sweet Rain 死神の精度」の奥田恵梨香。等身大の視点でつづられる、女子同士の恋物語が切ない。

●9/27土～10/3金 16:10/18:20/20:30

10/4土～17金 20:30 ※ただし、10/16木は休映



10/4(土)～ロードショー

9/27(土)～10/3(金)はシネ・ヌーヴォにて20:40より
レイドロードショー。引き続きXにて10/4よりロードショー!

ロックンロール★ダイエット!

2008年／日本／102分／配給:バイオタイト ○監督:元木隆史
 ○脚本:神尾愛 ○原作:「ロックンロール・ダイエット」(中丸謙一朗著)

○出演:堀大輔、長澤奈央、波瑠、紗綾、ウチダトラ、三原じん子
 “ガンさん”こと江口巖、42歳。かつてはロックン・ローラーとしてバリバリに青春していた彼だが、家族に囲まれながら居酒屋を経営し、今はジャージ愛用のメタボ親父。年ごろの娘からは「みっともないお腹」とさげすまれ、愛しい妻は「10キロ減量しなきゃ戻らない」と家出してしまった。のびのびならない状況に陥ったガンさんは納戸の奥にしまいこんでいた革パンを引っ張り出し、己のプライドとロック魂を懸けてダイエットに向かう。目標は、ミック・ジャガーのボディだ!?

あのエルヴィス・プレスリーも、「ザ・ドアーズ」のジム・モリソンもなし得なかった夢に、今、一人の男が挑む。それはずばりダイエット! でも、ビリー隊長もアプシェイブもいらぬえ。必要なのは、ロック魂のみ! 果たして…??

●10/4土～10/17金 11:20/13:20



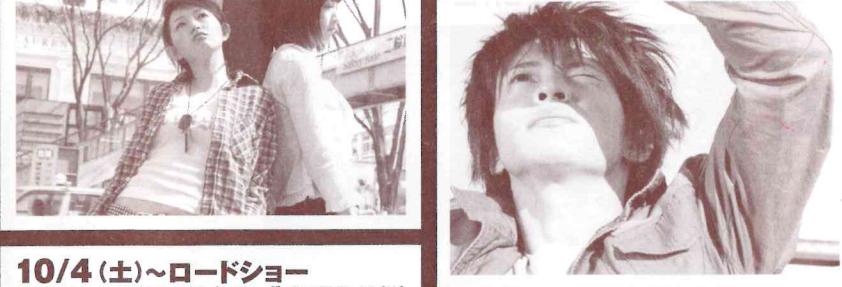
10/18(土)～ロードショー 《Ka》symmetry アシンメトリー

2008年／日本／82分／カラー／配給協力:ビデオプランニング
 ○監督:佐藤徹也 ○脚本:開けり香 ○撮影:坂本将俊 ○音楽:INORAN
 ○出演:和田正人、荒木宏文、佐津川愛美、金井勇太、工藤潤一、佐伯新、神谷美花、佐藤二朗、志賀廣太郎、河合龍之介、水木麻、小林且弥、甲本雅裕、穂木順吉

フリーターをしながらさまざまな生活を送るアキは、いつものように思い立ち旅に出る。旅の途中、偶然訪れた時計屋で、時計職人の夫婦、そして幼なじみの勇人にそっくりな将也に出会い、アキは驚きそして戸惑う。一流的“時計師”を目指して修行中の将也と共に居候することになったアキだったが、性格が正反対でいつもぶつかる2人。しかし思いがけない出来事で、アキ自身が封印していた切ない過去と向き合うことになる…。主人公のアキを演じるのは、映画「カフェ代官山」をはじめ幅広いジャンルで活躍し人気沸騰中の馬場徹。苦しい過去との葛藤や生き方を標榜する青年の苦悩を、感情を抑え熱のこもった演技で体現。共演はミュージカル「テニスの王子様」の古川雄大。監督は2005年「天使が降りた日」で監督デビューの山本透、若手美形俳優陣たちのフレッシュな魅力や、青春の痛みと輝き、さらに情感豊かな美しい時間を競ぎだしている。

●10/18土～10/24金 12:00/15:10/18:20

10/25土～10/31金 16:45/19:55



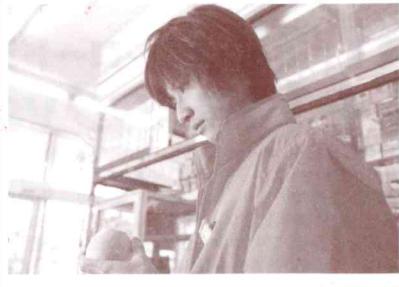
10/18(土)～ロードショー キズモモ。

2008年／日本／70分／配給:日本出版販売、モブキャスト、ダブ
 ○監督:山本透 ○脚本:吉井真奈美 ○出演:馬場徹、古川雄大、河合龍之介、水木麻、小林且弥、甲本雅裕、穂木順吉

フリーターをしながらさまざまな生活を送るアキは、いつものように思い立ち旅に出る。旅の途中、偶然訪れた時計屋で、時計職人の夫婦、そして幼なじみの勇人にそっくりな将也に出会い、アキは驚きそして戸惑う。一流的“時計師”を目指して修行中の将也と共に居候することになったアキだったが、性格が正反対でいつもぶつかる2人。しかし思いがけない出来事で、アキ自身が封印していた切ない過去と向き合うことになる…。主人公のアキを演じるのは、映画「カフェ代官山」をはじめ幅広いジャンルで活躍し人気沸騰中の馬場徹。苦しい過去との葛藤や生き方を標榜する青年の苦悩を、感情を抑え熱のこもった演技で体現。共演はミュージカル「テニスの王子様」の古川雄大。監督は2005年「天使が降りた日」で監督デビューの山本透、若手美形俳優陣たちのフレッシュな魅力や、青春の痛みと輝き、さらに情感豊かな美しい時間を競ぎだしている。

●10/18土～10/24金 13:40/16:45/19:55

10/25土～10/31金 15:10/18:20



11/1(土)～7(金) ロードショー レス・ポールの伝説

2007年／アメリカ／90分／カラー／配給:SPOTTED PRODUCTIONS
 ○監修協力:バイオタイト ○監督・編集・ジョン・ポールソン ○脚本:ジェームズ・アーンツ
 ○出典:レス・ポール、キース・リチャーズ、ジェフ・ベック、ボール・マッカートニー、B.B.キング、トニー・ネット、エリック・クラプ頓、ヘイン

一派ミュージシャンたちに愛用され、エレキ・ギターの代名詞となった“レス・ポール”。世界の名だたるミュージシャンが手にするレス・ポールは、音楽を目指す若者にとって憧れの楽器だった。そのエレキ・ギターの産みの親レス・ポールは、5度のグラミー賞を受賞した伝説のギタリスト。本作は、ミュージシャンたちとのセッションを中心にレス・ポール自らが人生を振り返り、彼を尊敬してやまないボール・マッカートニー、ジェフ・ベック、キース・リチャーズらがレス・ポールを語る至福の音楽ドキュメンタリー!! 90歳を過ぎてなお週に一度はステージに立レス・ポールの活力ある姿は圧巻!!

●11/1土～11/7金 11:00/12:50

レス・ポール

1915年6月9日、アメリカ・ウィスコンシン州生まれ。30年代よりミュージシャンとして活動をスタート。現在までに50枚のシングルと35枚のアルバムをリリース。累計3千万枚以上のレコードセールスを記録。40年代に世界で初めてのソリッド・ボディのギターを発明し、その後コードのカッティングマシンを自作。多重録音を可能にしたり、アナログデリケイティンの原型を発明。1951年に妻のメリーフォードとのデュオ、「ハウ・ハイ・ザムーン」が全米1位を獲得。その後、ギフン社初のソリッドギター“レス・ポール”が発売される。1976年チック・アトキンスと作成した「チエスター＆レスラー」で1977年グラミー賞を受賞。今までに5度グラミー賞を受賞しているほか、1988年には、ロックの殿堂アーリー・インフルエンス部門に殿堂入り。その後も精力的にライブを重ね、93才になった現在でも、ニューヨークのジャズ・クラブで毎週月曜日のライブを行っている。



11/1(土)～ロードショー 東京残酷警察

2008年／アメリカ／109分／カラー／配給:SHU-G 百瀬
 ○監督・脚本:西村喜廣 ○脚本:西村喜廣、柳原吾郎 ○撮影:Shu-G 百瀬
 ○出典:いいねいひ、板尾創路、紅井ユビキ、ジジ、ふう、澤田青子、景川イ、マツ山田、坂口洋一、中原剛司、堀部圭亮、菅田俊

本年度ゆうばりファンタスティック映画祭で映像の一部を公開し、ゆうばり市民を震撼(一部激怒?)させ、海外の映画祭では、日本でも話題沸騰の『片腕マシンガール』を上回る熱氣でチケットのノールドアウトが続出している超絶コアスプラッターハードがついに完成!! 近未来的な東京を舞台に人類の驚異を与える新種の殺人ミュータント“エンジニア”とそれを抹殺するために民営化された警察組織“東京警察株式会社”との壮絶な闘い! 血と暴力という過激シーンのみに留まらず、アートな匂いを醸し出す映像表現は過去のどんな映画にも当てはまらない。監督は『片腕マシンガール』をはじめとする特殊造型・残酷効果で世界にその名を轟かせている西村喜廣。ボール・ワーホーベン(「スターシップ・トゥルーパーズ」)も真っ青な前人未到の革命的なスプラッターファンタジーを生み出した。ヒロインのルカには三池崇史監督作品『オーディション』で世界を震え上げさせた元祖と製スプラッターケイン、しいなえいひ。

●11/1土～11/7金 14:40/16:50/20:55

11/8土～21金 20:35 ※ただし、11/20木は休映



COMING SOON 11月下旬～ロードショー 夏休みのような1ヶ月

2008年／日本 ○監督:川野浩司 ○脚本:安里麻里
 ○出演:荒木宏文、山崎育三郎、皆佐佑紀、松本誠治郎
 都会の喧噪の中を傭衆と繰りでゆくローラー。赤いヘルメットが印象的な、サイクル便のメッセンジャーとして働く純也。1年前に競輪選手だった父を事故で亡くし、ただ無気力にペダルをこぐ日々を過ごしていた。ある配達の途中で、ビルの屋上で今にも飛び降りそうな青年を見つけ事故に合う…。

12月上旬～ロードショー カフェ代官山II～夢の続き

2008年／日本 ○監督:武正晴 ○脚本:金杉弘子 ○撮影:西村博光
 ○出演:相葉弘樹、大河元気、柳山蓮、馬場徹

物語はPart1の3年前、クラブで激しく踊っていたヒビキは、チャンピオンからまれ抜け回っているところをマスターに助けられる。『カフェ・レーヴ・コンティニュエ』という古びたカフェだった…。大ヒットした前作「カフェ代官山」へと繋がる、Sweet Boys誕生までの秘話を描く最新作!! 乞うご期待!



11/8(土)～ロードショー トラ・コネ Triangle Connection

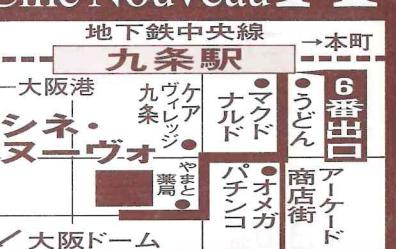
2008年／日本／101分／製作・配給:TX-TK
 ○監督・脚本:北崎一敏 ○撮影:立花宣 ○アクション監督:西本良治郎
 ○出演:杉浦太陽、岩田知希、澤田裕衣、遠藤憲一、我修院达也、大庭健二

テロリストに狙われた大阪の街を舞台に、街の平和と人々の安全を守るために平凡な女子高生たちと天才数学者が立ち上がるアクションドラマ。彼らに10数年前の幻のヒローワン組の主人公も加わり、それぞれが熱い思いを抱きながら大切なものを必死に守ろうとする姿を映し出す。プログラマのマリアのコンサート会場に、テロリストに追われて天才数学者・タケヒコが逃げ込んでいた。テロリストたちはマリアたちをも巻き込み、タケヒコを追い込んで行く。そしてテロリストに狙われた大阪の街、なんと爆破のタイムリミットは刻一刻と迫っていた…。主演は大阪出身の杉浦太陽。身近な人たちや場所が危機にさらされたときに気付く、本当に大切なものを問うエンタテインメント活劇!!

●11/8土～21金 12:30/14:30/16:30/18:30

11/22土～28金 20:40 ※ただし、11/20木の18:30は休映

Ciné Nouveau X



シネ・ヌーヴォX

地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩3分
 シネ・ヌーヴォ内 tel.06-6582-1416
<http://www.cinenouveau.com/>

アーバンリンクX 提携

シネ・ヌーヴォX
 地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩3分
 シネ・ヌーヴォ内 tel.06-6582-1416
<http://www.cinenouveau.com/>

木曜講座 +1(プラスワン) vol.2

12:15/14:20/16:25/18:30
 ※初日11/22のみ1回目11:30

初舞台挨拶!!
 11/22(土) 安藤尊監督、出演:藤真美穂
 鳴下佳昌、舞台挨拶!! (初日の上映後)
 一般1700円、学生1400円、高以下・シニア・会員1000円 (前売1400円)

夏休みのような1ヶ月

木曜講座
 浅野潛さんと映画を楽しむ会
 10/16(木) pm.6:40
 11/20(木) pm.6:40
 一般1500円、学生・シニア1200円、会員1000円

10月	1 wed	2 thu	3 fri	4 sat	5 sun	6 mon	7 tue	8 wed	9 thu	10 fri	11 sat	12 sun	13 mon	14 tue	15 wed	16 thu	17 fri	18 sat	19 sun	20 mon	21 tue	22 wed	23 thu	24 fri	25 sat	26 sun	27 mon	28 tue	29 wed	30 thu	31 fri	
Day																																
ねこ映画特集																																
TOP-LESS トップレス																																

Day	16:10	18:20	20:30	『TOPLESS トップレス』 20:30 (終22:20)	※ただし、10/16木 一般1700円、学生1400円(前売1400円) 高・中・シニア・会員1000円、当日3回券3600円

『アシンメトリー』 12:00/15:10/18:20	1200円均一 シニア・会員1000円	13:40 (終14:50)	『カーフェ代官山～Sweet Boys～』 1200円均一 シニア・会員1000円	13:40 (終14:50)	『レス・ポールの伝説』 11:00/12:50	一般1700円、学生1400円、高以下・シニア・会員1000円(前売1400円)
『TOP-LESS トップレス』 20:30 (終22:20)	※ただし、10/16木 一般1700円、学生1400円(前売1400円) 高・中・シニア・会員1000円、当日3回券3600円		『キズモモ。』 15:10/18:20	一般1700円、学生1400円 高・中・シニア・会員1000円(前売1400円)	『東京残酷警察』 14:40/16:50/20:55	一般1700円、学生1400円、高以下・シニア・会員1000円(前売1400円)
			『キズモモ。』 13:40/16:45/19:55	一般1700円、学生1400円 高・中・シニア・会員1000円(前売1400円)	『アシンメトリー』 16:	



追悼特集 土本典昭の世界

描かれる人々に愛と尊敬と信頼を吐露し続けた偉大なる記録映画作家・土本典昭監督。水俣に伴走しつつ製作された映画史上に輝く傑作の数々、そしてアフガンへの眼差し。80回目の誕生日となるはずだった12月11日をはさみ第1作から24作品を一挙上映!!

●上映作品

ある機関助士 1963/37分/デビュー作/岩波映画製作所

ドキュメンタリー 路上 1964/54分/東洋シネマ

バルチザン前史 1969/120分/小川プロダクション

留学生チュア スイリン 1965/51分/藤原プロダクション

水俣ー患者さんとその世界ー 1971/167分/東プロダクション

水俣レポート1 実録 公調委 1973/48分/青林舎

水俣ー探ー一生を問う人びとー 1973/108分/青林舎

医学としての水俣病ー三部作ー

第一部 資料・証言篇 1974/82分/青林舎

第二部 病理・病像篇 1974/103分/青林舎

第三部 臨床・疫学篇 1975/91分/青林舎

不知火海(ディレクターズカット新版) 1975/153分/青林舎

水俣病=その20年= 1976/43分/青林舎

わが街わが青春ー石川きゆ水俣熱帯 1978/43分/青林舎・東北新社

偲ぶ・中野重治ー葬儀・告別式の記録ー1978年9月8日 1979/55分/思ふ映画人有志会

水俣の図・物語 1981/111分/カラー/青林舎

水俣病ーその30年ー 1987/43分/青林舎・シグロ

よみがえれカレーズ 1989/116分/カラー/記録社・シグロ

回想・川本輝夫 ミナマタ井戸を掘ったひと 1999/42分/土本住仕部屋

もうひとつアフガニスタンカーブル日記1985年 2003/42分/映画同人シネ・アソシエ

在りし日のカーブル博物館1988年 2003/32分/映画同人シネ・アソシエ

みなまた日記ー甦える魂を訪ねてー 2004/100分/映画同人シネ・アソシエ

みなまた日記ー甦える魂を訪ねてー 2004/100分/映画同人シネ・アソシエ

●特別上映作品

記録映画作家の原罪 2003/60分/映画同人シネ・アソシエ

記憶の形見 2008年/9分/お別れ会上映作品

●アンコール上映作品

映画は生きもの記録である

土本典昭の仕事 2006/94分/監督:藤原敏史

ビジュアルトックス

『水俣ー患者さんとその世界ー』

土本典昭監督

1928年12月11日、岐阜県生まれ。46年、早稲田大学へ入る全学連副委員長として活動。

52年、武装革命を目指す山村工作隊の隊員として小河原に行くが逮捕。56年岩波

映画製作所に所属。テレビ用の作品を作

った後、「ある機関助士」(63年)でデビュー。

以降「キムラント路上」(64年)、「留学生

チュア スイリン」(65年)と、独自のドキュ

メンタリーの世界を開拓、評価を得る。69

年「バルチザン前史」、71年「水俣ー

シズ第一作「水俣ー患者さんとその世界ー」

(71年)を発表。高く評価されるとともに世

界に水俣病の存在を知らしめた。その後

も「水俣ー」シリーズを連作。他に「海盜一下北半島・浜岡根ー」(84年)、「よみがえ

れカレーズ」(89年)など多数。96年の「水俣ー

東京展」のため水俣病の死者の遺影を取集

、それを旅日記風にまとめた「みなまた

日記ー甦える魂を訪ねてー」(04年)が

遺作となった。今年4月頃より体調を崩し、

6月千葉県房総のホスピスに転院。6月

24日、肺ガンのため死去。享年79歳。

ドキュメンタリーの海へ

記録映画作家・土本典昭との対話

土本典昭・石坂健治著 現代書館/376頁/3600円+税

石坂健治らが2003年より2年間にわたって

収録した土本監督へのインタビューを基に

した対話集。土本監督も本誌の校正・編集

作業に1年間をかけて没頭され、本書が最

後の仕事となった。土本監督の信念とする

言葉に溢れ、戦前・戦後を生きた心優

しき記録映画作家の人生が語られてい

る。時代を読む好著であり、映画を愛する人、

志す人には必読の本。

ぜひお求めください。

トキメクリー映画の快楽とは何かー

日本土本典昭が語る

その生涯映画のラストメッセージ

〔「海とお月さまたち」上映終了後〕

●トークショー開催!! ゲスト:大津幸四郎さん(撮影監督)

12月7日(日)10:30~ 土本基子さん(奥様、編集)

●12月7日(日)10:30と12:10の回のみシネ・ヌーヴォで上映!!

(他は、すべてシネ・ヌーヴォでデジタル上映となります)

●各回完全入替制(1作品ごとに料金が必要です)



2008-09
Dec
Jan

シネ・ヌーヴォの
新しいスペース
<発行>シネ・ヌーヴォ
2008年12月1日号

人はそれをニューロックと呼んだ――。

ロック誕生 The Movement 70's

1970年代初頭に起きたロック革命。伝説の創成期。発掘された貴重なフィルムでつづる日本のロックパイオニアたちのライヴ・ドキュメント。「ロック誕生!!」

『ロック誕生 The Movement 70's』

12/27(土)~
お正月ロードショー!!

2008年/日本/デジタル/カラー(一部モノクロ)/75分/配給:「ロック誕生」Partners.日本出版販売

○監督:村兼明洋 ○製作:安西崇、町田晋、伏水純季 ○監修:サミー前田

○編集:小深田真次 ○撮影:雨宮直人 ○宣伝写真:福山紀信

○出演:内田裕也、ミッキー・カーチス、近田春夫、中村とうよう、加納秀人、森国勝敏、

はっぴいえんど、フラー・トラヴェリン・バンド、頭脳警察、イエロー、遠藤賢司、ハルヲフオン、

ファー・イースト・ファミリー・バンド、村八分、クリエイション、四人娘子

ピートルズやローリング・ストーンズに触発された和製ピート・グループのムーブメントである

「グループサウンズ(GS)」は、1966年のピートルズ来日公演をきっかけに67年から68年にピークを迎える。

200組近いバンドがデビューし、当時の若者の文化を象徴する社会現象とまでなったが、69年には下降していく。

同時期、芸能界主導の歌謡曲から脱皮できなかったGSに見切りを付け、

サイケデリックやアートロックと呼ばれた欧米の新しいロックに呼応した

「オリジナルの和製ロック」を創造するアーティストたちが登場はじめる。

長髪の若者たちを熱狂させた陶酔のそれらの音楽は、総称して「ニュー・ロック」と呼ばれた。

彼らは、多種多様なロックで個性を競い合っていたのだった。

この映画は、ニュー・ロック時代から数年間、日本にロックが定着し始める70年代前半のライブ映像を集め、

関係者の証言とともにまとめたものである。

近年、アルバムやライブ音源はCDで安易に聴けるようになったにもかかわらず、映像はなかなか発掘されなかっただけに、

大変貴重なライヴ・ドキュメントであり、伝説の70年代をひも解く指屈のドキュメンタリー。

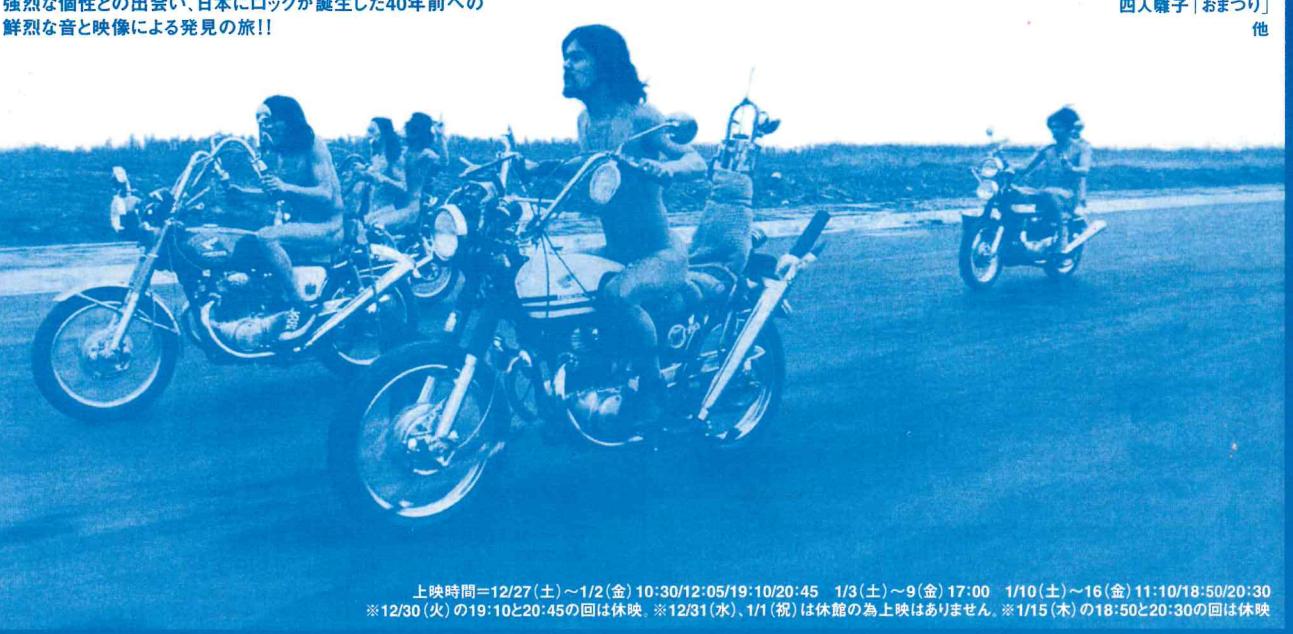
当時から海外でも評価の高かったフラー・トラヴェリン・バンド、

日本のピートルズとも称され独自の日本語ロックを創ったはっぴいえんど、

今も第一線で激しく活躍している遠藤賢司、そして70年代前半の京都という独自の文化が生んだ村八分…。

強烈な個性との出会い、日本にロックが誕生した40年前への

鮮烈な音と映像による発見の旅!!



11/29(土)~モーニングショー ベルリン・フィルと子どもたち

2004年/ドイツ/105分/配給:セテラ・インターナショナル
◎監督:スマス・グレベ、エンリケ・サンチス・ランチ
◎音楽:イゴール・ストラヴィンスキイ「春の祭典」
『帝国オーケストラ』「ベルリン・フィル 最高のハーモニーを求めて」公開を記念し、その同じ監督たちが共同で創った前作を特別上映。ベルリン・フィルの指揮者サー・サイモン・ラトルの発案で、世界各国からベルリンにやってきた人種、年齢も異なる難民の子どもら250名によるダンスプロジェクトを描いたドキュメンタリー。ダンスも音楽も無縁だった子どもたちが、6週間にも及ぶ猛練習を経て、ベルリン・フィルの演奏でストラヴィンスキイの『春の祭典』を踊る感動のラストは圧巻。2004年ベルリン映画祭のワールド・プレミアで、観客を熱狂と感動の渦に巻き込んだ感動作!

●11/29土~12/7日 11:50



※『帝国オーケストラ』「ベルリン・フィル」の半券をお持ちの方1000円

11/29(土)~ロードショー 夏休みのような1ヶ月

2008年/日本/75分/配給:モブキャスト
◎監督:川野浩二/脚本:安里麻里
◎出演:荒木宏文、山崎育三郎、音川佑介、林未紀、中村誠治郎、前田健、岡本真寛、河本啓祐、根本幸多、三宅淳一、鈴木賀
1年前にプロの競輪選手だった父を事故で亡くして以来、サイクル便のメンツジャーとして無気力な毎日を送る純也(荒木宏文)。ある配達の途中、彼はビルの屋上から今にも飛び降りそうな青年・真太郎(山崎育三郎)と出会う。その後、偶然にも真太郎が原因で事故に遭い、入院することになってしまった純也だったが…。ツール・ド・フランス出場を目指しながらも無気力に生きる青年と、プロダクツ・デザイナーを夢見てデザイン会社に勤める青年の心の交流を描いた青春ストーリー。夢と友情を描いた熱いストーリー展開と、フレッシュで魅力的なキャストによる話題作。

●11/29土~12/6土 16:00/17:40/19:20/21:00
12/8月~12/12金 18:50/20:30

※12/7(日)の上映はありません



12/6(土)までロードショー +1プラスワン vol.2

2008年/日本/105分/カラー/製作・配給・宣伝:アフレ
『決心をすること』(11分)監督:利重剛 「駆ヶ浜温泉コンビニオ」(控え室)
『17分』監督:緒方明 「悪意」(26分)監督:篠原哲雄 「対話」(20分)
監督:佐々木浩久 「いつかの日となる今日」(29分)監督:安藤尊

12/13(土)~ロードショー カフェ代官山II~夢の続き

2008年/日本/68分/配給:日本出版販売、ビデオプランニング
◎監督:武正晴 ◎脚本:金杉弘子 ◎撮影:西村光
◎演出:相葉弘樹、大河元氣、桐山蓮、馬場徹、日向、齊藤歩
前作『カフェ代官山~Sweet Boys~』で展開されたストーリーに至るまでの物語を描いた青春映画。3年前、どのようにして仲間たちが出会い、共に苦難を乗り越えながらカ福をオーブンさせたのかをつぶさに見せる。一作目に引き継ぎ相葉弘樹、大河元氣、桐山蓮、馬場徹ら4人の若手美形俳優が勢ぞろいし、それぞれの魅力を観客を魅了する。最初はお互いに反発しながらも、やがて一つの夢に向かって力を合わせて行く彼らの姿が共感を呼ぶ。

●12/13土~19金 14:30/16:00/17:30/19:00/20:30
12/20土~26金 16:00/17:30/19:00

※12/18木19:00、20:30の回は休映



12/20(土)~26(金)追加ロードショー 12/13(土)~19(金)はシネ・ヌーヴォにてロードショー! ブラザーズ・クエイの幻想博物館

最新作『ピアノチューナー・オブ・アースクエイク』公開を記念して、シネ・ヌーヴォXでも「クエイ回顧展」の短編2プログラムを追加上映!

◆プログラムD 『アナモルフォーシス』

1991年/ルネッサンス期に開催された絵画の技法、16世紀のだまし絵を人形たちが研究する。

『サンドマン』2000年/イギリスの人気ダンサー、アダム・クーパーとのダンス作品。

『ファントム・ミュージアム』2003年/秘宝の医学コレクションを毫華が華麗な手つきで案内!?

※12/18木19:00、20:30の回は休映

◆プログラムE 『デュエット』1999年/ウィル・タケットのバレエを演出。

『イン・アブセンティア』2000年/現代音楽作家ショット・クハウゼンとの共同作品。女性についての実話。

『ソングス・フォー・デッド・チルドレン』2003年/テートモダン企画協力作品。

●12/20土~22月 〈Dプロ〉14:30 〈Eプロ〉20:30

●12/23火~26金 〈Eプロ〉14:30 〈Dプロ〉20:30

※12/30、1/1は休館のため休映



1/3(土)~追加ロードショー 12/13(土)~19(金)はシネ・ヌーヴォにてロードショー! 帝国オーケストラ ディレクターズ カット版

2008年/ドイツ/97分 ◎監督:エリック・サンチス=ランチ
◎出演:フルヴィエ・クラー時代の演奏家とその関係者、ゲッベルス

創立125周年を迎えたベルリン・フィル。その長い歴史の中の1933年から1945年までのヒトラー政権時代に、どう活動したかを検証した問題作。戦後ナチスに協力したとして戦犯会議にかけられた指揮者フルヴィエ・クラー、また個々の演奏家たちは何を感じ、どう選択し演奏を続けていたか。時代に翻弄されつつ、封印されていた演奏家個々の真実を明らかにしていく2007年ベルリン・フィル125周年式典で上映され、さらに再編集、ディレクターズカット版として完成した特別編集版。

●1/3土~9金 11:10 1/10土~16金 12:50

●浅野潜さんと映画を楽しむ会●
12月18日(木) pm.6:40
1月15日(木) pm.6:40
一般1500円、学生・シニア1200円、会員1000円
ご存知、浅野潜さんが選ぶ世界の名作とお話し。
何が上映されるかは、当日のお楽しみ!

連日整理券発行(各回完全入替制)

●連日朝より当日分の整理番号つき入場券の販売を開始します。ご入場は各回10~15分前より整理番号順となりますが、前売券なども受付にて入場券とお引き換え下さい。完全入替制となりますので、ご注意ください。

●シネ・ヌーヴォXは、すべてデジタルDLP上映となります。

シネ・ヌーヴォXのスペースを開放!

上映会を企画してください。貸館募集!!

●シネ・ヌーヴォXは、座席30の多目的フリースペース。

上映会、ワークショップなど、貸し出しも行なっております。

●シネ・ヌーヴォXは、座席30の多目的フリースペース。

上映